

IV 調査結果 自由回答（問10）

自由回答の掲載に当たっては、回答者の意見を尊重するとともに、調査結果を区の具体的施策に役立てるために、肯定的なものも否定的なものも偏りなく掲載することとした。

原則として回答者が記入した原文のまま掲載しているが、誤字脱字等は読みやすさを考慮して修正した。また、回答者、個人、地名等の特定を避ける必要がある場合は、趣旨を変えずに回答の一部を変更または削除して掲載した。

■分析手法

問10では、港区政への意見等について、自由に記述するよう求めた。問10の自由回答は、図表4-1～2のとおりである。また、「転出」、「転入」、「転居」に分けて回答を掲載した。

図表4-1は、回答の内容ごとに15項目（A～O）に分類し、項目ごとの回答数を示している。なお、分類項目別回答数は、1つの回答が複数の項目に分類されて集計されている場合があるため、回答数261（「転出」101、「転入」71、「転居」89）と一致しない。

■全体的傾向

「転出」、「転入」、「転居」の合算では、E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）、M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等）、F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）、B 子育て・育児、K 家賃・住宅、G 防災・生活安全、J 買い物・物価・飲食店の回答数が多いことが分かる（図表4-1）。

具体的な意見として、E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）は、公共交通に満足している、電柱の地中化を推進してほしい、自転車のマナーが悪い、などがあげられる。M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等）では、サービス向上への要望、職員の対応への満足・不満、などがあげられる。F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）では、緑への満足・不満、臭害・騒音に対する改善の要望、などがあげられる。B 子育て・育児では、幼児教育への要望、子育て支援施策への満足・不満、などがあげられる。K 家賃・住宅では、家賃が高い、公営住宅増設への要望、などがあげられる。J 買い物・物価・飲食店では、スーパーが少なく不便、物価が高く買い物しづらい、安価な飲食店が少ない、などがあげられる。

■異動事由別傾向

異動事由別に見たとき、「転出」では、M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等）、B 子育て・育児、E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）の順に高く、それぞれ1割以上の回答者が回答している（図表4-1）。

「転入」では、F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）、E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）、K 家賃・住宅の順に高く、特にF 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）は3割5分以上の回答者が回答しており、関心が高いことが分かる（図表4-1）。

「転居」では、E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）、F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）、G 防災・生活安全の順に高く、特にF 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）は約3割5分の回答者が回答しており、関心が高いことが分かる（図表4-1）。

図表4-1 自由回答（港区政へのご意見等）

分類項目	分類項目別 回答数	回答数（再掲）		
		転出	転入	転居
A 高齢者・障害者福祉	9	6	0	3
B 子育て・育児	23	16	6	9
C 医療機関・健康	9	8	1	1
D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）	18	6	9	8
E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）	49	14	19	31
F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）	36	7	26	18
G 防災・生活安全	20	3	13	11
H 教育（図書館も含む）	10	0	1	10
I スポーツ・文化・芸術	12	8	2	2
J 買い物・物価・飲食店	20	4	13	5
K 家賃・住宅	22	1	16	8
L 国際化・国際交流	8	5	3	1
M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等）	39	24	11	8
N 税・保険料	8	0	8	1
O その他	69	31	21	17

図表4-2 自由回答（港区政へのご意見等）

A 高齢者・障害者福祉	B 子育て・育児	C 医療機関・健康	D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）
E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）	F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）		
G 防災・生活安全	H 教育（図書館も含む）	I スポーツ・文化・芸術	J 買い物・物価・飲食店
L 国際化・国際交流	M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等）	N 税・保険料	O その他

異動事由	内容	分類項目	年齢、性別
転出	障害者に対して援助が充実（〇〇区とは大違い）住み始めてから、××、〇〇、新国立美術館ができ、コミュニティバスが通り、すべてに充実してきて、快適な生活を送ってこれました。港区を離れたくなかったのですが、我々にあう老人ホームがなかったので残念…。	A、E、I	90代、男性
転出	子育て、高齢者、支援に力を入れる区政に期待しております。	A、B	30代、女性
転出	今まで、子供が生まれてから××区→港区→△△区と引越してきましたが、港区の子育てのしやすさはもっとも良いと思います。具体的には子育て支援センターの充実（設備の大きさ、清潔さ、含む）や、保育料などです。友人にも港区の子育て支援のコトをすすめていたりしています。これからも区の施設の設備など期待しております。（今も何度も芝浦の区民センターなどにおじゃますることがあるので）	B	30代、男性
転出	実際、子育て支援は充実していると思いますが、共働きだとなかなか子育て支援を使用できなかったり、手続きがはんざつだったり…。また平日は使えないので、難しい点も。でも□□区より検診が集団じゃなかったりという点も沢山。□□区に来てからも集団検診ではなく、今までの病院に検診に行ったりしています。	B	40代、男性
転出	とても住みやすい街でしたので、離れるのは寂しいです。子供を育てる環境が非常に充実していると思いますので、いずれ戻ってきたいです。	B	30代、女性
転出	幼稚園に入園させる前の子供がおり、どの幼稚園も倍率が5～6倍と、少し異常な地区だと思う。倍率が高いからと何園も受験せざるを得なく、これによりまた倍率が上がるという悪循環。何か対策したら？とずーっと思っていた。ちいばすの3歳まで無料化はとても助かっており、よく利用していました。ありがとうございました。	B	40代、男性
転出	賃貸物件などが多く建てられているが、子育てのしやすさへの配慮がなされていない様な気がする（道路脇の歩道が狭い等）。ファミリーで利用出来る様な大型スーパーが少ないこと。	B、J	30代、女性
転出	子育て支援の手厚さには本当に感謝しております。一人目妊娠前から大変お世話になりました。また、国際性の豊かさは群を抜いており、子供にとってもよい環境で幼少期を過ごすことが出来ました。子供たちが安全に電車通学できる年齢になれば、またいつか戻りたいと思っています。（独身時代～10年以上港区にお世話になりました。上の子、下の子共すばらしい区立幼稚園に通わせていただきました。友人知人も皆港区です。）唯一、子供が一人で歩ける安全な環境作りを商店などと連携して頂きたいなと思いました。一人歩きさせるには少し不安でした。（子ども110番の少なさ、道の暗さ、歩道の狭さなど。）	B、G	30代、男性
転出	区役所の職員の方の対応が丁寧で細やかだと感じます。子育てに向ける予算も多く、とても充実していると思います。	B、M	30代、男性
転出	子供が1歳～3歳半まで存園していた〇〇〇〇保育園が素晴らしく、母娘共に忘れられない。夫が単身赴任世帯である為、私の会社から徒歩圏内という理由で住んだ3年半だったが、小児医療機関の充実、清潔な街並み、手入れの行き届いた公園、住まう人達の教育意識の高さ、アットホームな×商店街、国際色の豊かさ…何を取っても素晴らしかった。1歳から娘を保育園に預かって頂きながら働くしかない環境に港区芝を選び、心底良かったと思っている。ただ一つのネックが賃貸マンション（1LDK）の家賃が私の月収ほどかかったことであるが、払う価値はあった。転居先は問9（2）を重視し選んだが、（3）の不便をガマンしている。	B、C、D、E、F、K、L	40代、女性
転出	子育て支援が充実していてよかったです。特に□□保育園がとても先生方の質が高く、転勤して残念でした。	B	40代、女性
転出	幼稚園が全然足りていない。受験があたりまえとなっている。	B	30代、男性
転出	医療機関、公共交通機関が充実していて、港区役所の方々もやさしく接して下さり、良い街でした。ありがとうございました。	C、E、M	50代、女性
転出	港区ではお口の検診が年2回あったり、無料ででのガン検診があったりと充実していたので、ずっと港区に住んでいたかったのですが、住宅価格が高すぎて買えませんでした。残念です。	C、K	50代、女性
転出	素晴らしい区でした。ただ、料理を趣味とする私にとっては、スーパーの数が少なく、また他区に比べ高めなので、多少の不満はありました。伝統に根づいたイベントが多くあり、公園はいつもきれいにそうじされ、レベルの高い医者が多くいたので、そういった点は大変感謝しています。	C、D、J	40代、女性

A 高齢者・障害者福祉 B 子育て・育児 C 医療機関・健康 D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）
 E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等） F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）
 G 防災・生活安全 H 教育（図書館も含む） I スポーツ・文化・芸術 J 買い物・物価・飲食店 K 家賃・住宅
 L 国際化・国際交流 M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等） N 税・保険料 O その他

異動事由	内容	分類項目	年齢、性別
転出	〇〇〇〇、××××、くつ屋等、手頃な買物店があれば良かった。公園、道路、交通機関、街並み、役所の人々の対応などはとてもありがたく、快適でした。人々がお金を使ってあそびに来る場所で生活できた事にありがたかった。ただ、体調不良で仕事を休みがちになった時に相談に行き、生活保護を受給希望と思われ、上からの物の言い方と食料必要ですか？と意地の悪い表情で言われた時のことはくやしくて、情けなくて生涯忘れません。食料は頂きませんでした。総合的に港区は動きやすく、歩きやすく、良かったです。人ごみは苦手ですが、信頼できる整形外科が泉岳寺付近に見つかりましたが、あと少し近くければありがたかったです。	C、D、E、J、M	50代、女性
転出	ボイ捨てが多い。道が臭い事が多い。もう少し取締りの強化を。買い物は便利。医療機関も充実している。交通機関の利便性も高い。家賃が高い。	C、E、F、J、K	40代、女性
転出	港区スポーツセンター、〇〇病院、〇〇〇〇など非常に便利で清潔感もあり、とても快適な町だと思います。お世話になりました！	C、I	40代、女性
転出	駅近に、高級ブランドマンションの開発を誘知してほしい。	D	40代、男性
転出	港区に20年住みましたが、家賃、物価、交通の便、治安、街並み、コミュニティ、イメージ、行政サービス、緑の多さなどなど、とても暮らしやすかったです。私の第2のこきょうになっています（生まれた時も住んでたそうなのです）。	D、E、F、G、J、K、M	50代、女性
転出	とても良い街でした。どの道も美しく、歩いているだけで気持ちがよかったです。ゴミ1つおちてませんでした。街を美しく保っていくには大きなお金がかかると思いますが、「港区」というイメージどおり、これからもレベル高く、街を管理していただきたいです。	D	30代、女性
転出	港区在住期間で特に不満に感じることはありません。公園も多く、コンサートホール、美術館も区内の30分ほどの距離に点在しており、役所関係もアクセスが便利な場所にあります。マンションが建替え完了しましたら、またお世話になります。	D、E、I	50代、女性
転出	再開発ばかり計画され、港区の古き良き街なみが失われていくことに違和感を感じていました。	D	30代、男性
転出	自転車シェアリングのポートを（自転車含む）、もっと増やしてほしい。	E	30代、男性
転出	大型再開発は新たな街づくりとして、大変よいのだが、公共交通（主に地下鉄）がバンクしている（銀座線など）。大変難しい問題だが、発生交通量をさばく対策も同時に考えなければならないと思う。	E	50代、男性
転出	家賃は高かったですが、それを上回る便利さと公共施設の充実、区民報の配達、コミュニティバスの運行など、メリットを享受させていただきました。また戻りたいです。これからも住民に愛される港区であって欲しいです。	E、K、M	30代、女性
転出	朝の駅の混雑緩和施策を実行していただきたい。特に品川駅。	E	40代、女性
転出	短期間でしたが移動もとても便利で買物も近くで済ませられ、生活するには楽でした。田舎育ちの私としてはマンションで顔を合わせてもあいさつをしないとか、エレベーターが一緒になっても声を掛けないとか…都会ではそれが当たり前ののですが、地元では考えられないことでした。やはり自分にとっては自然があり優しさあふれる田舎が好きです。港区は住むより遊びに行くという所という感じでした。ありがとうございました。	E、J	40代、女性
転出	ゴミ出しが不便。自転車置場が少ない。	E、F	60代、男性
転出	図書館にマンガを充実させて欲しかった。コミュニティバスの増便及びルートの利便性とバス停の場所。	E、H	30代、女性
転出	道路の分離街路樹に設置されている標識がボロボロで景観を損ねている所が何ヶ所あった。	E	40代、女性
転出	ちいバス、△△バスなどよく利用しますが、一方向循環型から、双方向にしたらスゴク住みやすい。	E	20代、女性
転出	20年近く港区に住んでいました。〇〇区に転居し、初めて港区のよさがわかりました。まずは、ゴミが道に落ちてない事。そして福祉が充実していて、弱者に手厚いこと。区役所の方が皆親切なこと。はっきりいって、〇〇区は不満ばかり。また、今の物件を手渡して、港区の新築マンション購入して、港区に戻りたいと思ってます。港区最高です。あと、白金台保育室、南青山5丁目の児童相談所は、私はもし港区に住んでいたら大賛成です。頑張って早く建てて下さい。	F、M、O	50代、女性

A 高齢者・障害者福祉	B 子育て・育児	C 医療機関・健康	D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）
E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）	F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）		
G 防災・生活安全	H 教育（図書館も含む）	I スポーツ・文化・芸術	J 買い物・物価・飲食店
L 国際化・国際交流	M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等）	N 税・保険料	O その他

異動事由	内容	分類項目	年齢、性別
転出	JRや新幹線、モノレールの線路沿いのマンションだったため、電車の騒音がひどく、健康面もやや不安定になりました。その他の環境面やまちの雰囲気、地域のコミュニティ等は満足で、住みやすい環境でした。	F	30代、男性
転出	芝浦地区は大変住みやすかったが、海から上がってくる汚水のにおいが気になりました。	F	30代、女性
転出	運河が臭い。港区スポーツセンターが混み過ぎて使いにくい。	F、I	40代、男性
転出	外国人を受け入れすぎて環境が悪化している。子育てには不適切（六本木周辺）。レストランの前などに生ゴミが放置されていることがよくあった。罰則を強化すべき。	F、L	50代、男性
転出	以前、夜中に道路工事をされ、ねむれなくなり困りました。×××で働いていますが、業者さんの車が駐車違反でつかまるのはおかしいなと思いました。	F	60代、女性
転出	港区は古い街並あり、オフィス街あり、自然ありの大変恵まれた住環境であると思います。又、区役所職員も一人ひとりのレベルが高く、住民を大事にしており“住民目線”の行政が伝わってきました。	F、M	60代、男性
転出	〇〇商店街の近くに住んでいましたが、道もきれいに清掃され、コミュニティの雰囲気も明るく、7年間何の不満もありません。（これまで××区、△△区に住んでいました）今回たまたま□□区の物件をゆずり受けることとなり、転出しましたが、ご縁があればまた住みたい、他人にすすめたいと思います。お世話になりました。	F	40代、女性
転出	港区は（芝浦は）治安良く、住みやすかったです。買物は高く、不便でした。	G、J	30代、女性
転出	右翼の街宣車が本当にうるさかった。区に電話したこともあったが、対応してもらえなかった。港区は暴力団に屈したのだと思った。暴力団を排除してくれ。	G	40代、男性
転出	客引き禁止の看板はあっても、普通に客引きしていた。ちゃんとして取りしまって欲しい。	G	30代、女性
転出	区政も堅実で特に不満なし。警察官による巡視、巡回の強化。夜間の六本木交差点近辺の外国人らしき酔っ払いの悪態。振り込め詐欺による電話、訪問被害には困惑。	G	70代、男性
転出	高輪4丁目から通える小学校が遠すぎるので、何とかしてほしい。	H	40代、男性
転出	芝浦、港南エリアは山の手線内側と比べ、同じ港区でも学校環境が大きく異なる。人口増加の情報について、早め早めの教育環境の整備が必要だと思います。〇〇小へ通っていましたが、先生方はとても頑張って下さっていますが、適正人数を超えているので、結果子供たちにしわ寄せがあると思います。	H	40代、女性
転出	港区で1年6ヶ月単身赴任。色々不安がありましたが、港区の充実した施設等により、快適な1年6ヶ月でした。特に「港区スポーツセンター」を利用させて頂きました。すばらしい施設でした。	I、M	50代、男性
転出	港区がとても住みやすかったです。スポーツセンターも充実しました。次回は港区も検討します。	I	30代、男性
転出	物価が高く、日々のスーパーの買い物や手軽なランチは少し不便を感じていました。	J	30代、女性
転出	物価が高いと感じた。	J	30代、男性
転出	住んでいた時はとても良い土地でした。少し買い物のハードルが高かったりはしましたが、それ以外の問題はありませんでした。いつかまたお金持ちになったら戻りたいです。	J	30代、男性
転出	貧乏人でも住めるようにして欲しい。	J、K	70代、男性
転出	様々な手続きをしなければならなかったのですが、港区役所（麻布地区総合支所）員の方が、とても親切に対応して下さいました。物価は高いと思いますが、また港区に住みたいと思います。	J、M	50代、女性
転出	大都市なので仕方ありませんが、物価が高めです。下町の様な暮らしやすさがあるとよかったです。高齢の親の為に引っ越しましたが、いずれまた暮らしたい地域です。	J	60代、女性
転出	区民に対するサービスは充実していると思います。住宅の価格が手頃になれば、家族で住みたいと思います。	K、M	40代、男性
転出	港区には嫁ぎ先の親が居り近い内にまたお世話になる予定です。とても充実した区に思います。問9で不満などありません。引越先（××区）は不満もありますが、生まれた街の為どうか…。青山の母子施設、無事に建設されることを願います。昔からの地元民は、TVの様な不満を言う者は居らぬと思います。必要な施設です。△△在宅時（特賃）家賃□□万が高額過ぎ（最終の為）大変家計が悪い状況で他の住宅（公社）では同じ建物内で引越可でしたのに、私共は（特賃）不可…一度他区へ引越しました。現況は不明ですが対応を何度か議員さんに頼みましたが、ある党のお知り合いだけが助けられていたみたいです。	K、O	60代、女性

A 高齢者・障害者福祉 B 子育て・育児 C 医療機関・健康 D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）
 E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等） F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）
 G 防災・生活安全 H 教育（図書館も含む） I スポーツ・文化・芸術 J 買い物・物価・飲食店 K 家賃・住宅
 L 国際化・国際交流 M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等） N 税・保険料 O その他

異動事由	内容	分類項目	年齢、性別
転出	もう一度港区に住みたいですが、家賃は高すぎです。	K	30代、男性
転出	特にありません。楽しく暮らしていました。本当は帰りたく思っていますが、オリンピックも近く、家賃が高くなっているうえ、60過ぎた外国籍の自営業なので、なかなか貸してもらえません。何かそういう賃貸に不利な条件がそろった人を対象にした優遇制度があってくれたらうれしいです。	K	60代、女性
転出	港区は良い街だと思います。行政サービスも充実しています。区職員の意識も高いと思いました。ただ地価が高く、住み続けることはできませんでした。一方でそれだけ税金があるから高いサービスが提供できるのだとも思います。また住みたい街です。	K、M	40代、男性
転出	ここまで不動産価格が上昇しなければ、港区で購入したかもしれません。子供が産まれて将来を考えた時、希望の学校に通い易く且つある程度の広さの家を購入する時期をこれ以上伸ばしても状況が変わるのに数年以上かかるのなら、今身の丈に合った物件を購入すべきとの判断でした。部屋の広さは100㎡以上を希望していて、そこは子供の為に譲れない条件でした。夫：港区歴10年、妻：港区歴約10年でした。	K	40代、男性
転出	高齢者の為URしか受け入れがなかったから。	K	80代、女性
転出	港区では白金、高輪、元麻布、南麻布とお世話になっておりました。約30年の間でした。今でも帰りたいです。国際的で素敵な場所だと思っています。	L	60代、女性
転出	只今、生活保護をいただいている立場に居りますので、上記に記入したものはこちらに来る前の事です。余計な事です、港区役所は都内の区役所の中で一番冷たい対応をするという意見が多い。それは大使館が多かったり、お金持ちが多かったりで、区役所のお世話になる人がいないからだそうです。私はどれにも属さなかったけれど、港区役所さんのお世話になりました。こんなにお世話になって良いのかなと思ってますし、港区役所一番と思ってますし、又港区に早くもどりたと思っています。	M	年齢無回答、女性
転出	特に不満はありませんでした。区役所の対応も良くなされていたと思います。	M	70代、男性
転出	ペットの去勢をした際、事前に申告しなかったため、補助金がもらえなかった。手術した証明書があれば事前に申告しなかったとしても補助金をもらえるようにすべきである。何でももらえないのか説得力のある説明をできる職員がいなかった。みんな頭のかたい連中で住民税を払いたくなくなった。少しは住民サービスの観点から柔軟に対応すべきではないだろうか。まあ頭のかたい連中だから区役所でしか働けないのだろうけど。	M	40代、男性
転出	最初に港区へ引越したときに、区役所で「お客様」扱い頂いたことが非常に新鮮で、サービスレベルが高いと思いました。	M	30代、男性
転出	××県に転居して、港区では住民サービスが非常に行き届いていたと実感しています。区役所の窓口での対応、住民の利便性重視のサービスなど、地方は本当にひどいものです。健康診断なども港区は本当に手厚く、かかりつけ医のところで受診できますが、地方では今だに検診センターのようなところに決まった日に行かなければなりません。早く港区に戻りたいと思っています。同じように（あるいは地方の方が高額な）住民税や健康保険を支払って、港区では受けられていたサービスが地方では受けられません。東京一極集中の理由を体感しております。	M	60代、女性
転出	職員の対応が素晴らしい。	M	30代、女性
転出	引っ越した△△区と比較すると区政が見えにくい。区長が誰で、どれくらい区民に働きかけているのか？ぼんやりとした印象です。区報や区イベントなどの刷新が必要に思います。	M	50代、男性
転出	区政も、区役所のサービスも、区の施設も□□区より港区が優っていると思う。	M	50代、男性
転出	税の高さがつらかったです。	N	20代、女性
転出	住民税を安くしてほしい。	N	60代、男性
転出	特になし。	O	30代、男性
転出	ありません。	O	20代、男性
転出	特にありません。	O	60代、男性
転出	港区に13年半住み、とても便利で充実した日々を過ごせました。義理の両親の居住地に近いという事を前提に〇〇〇〇に転居しましたが、今でも昔住んだ近くの飲食店に通う事があります。	O	60代、男性

A 高齢者・障害者福祉 B 子育て・育児 C 医療機関・健康 D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）
 E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等） F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）
 G 防災・生活安全 H 教育（図書館も含む） I スポーツ・文化・芸術 J 買い物・物価・飲食店 K 家賃・住宅
 L 国際化・国際交流 M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等） N 税・保険料 O その他

異動事由	内容	分類項目	年齢、性別
転出	今も現在進行形の住民の不安、即ち喫緊の問題である都心上空低空飛行での羽田空港着陸計画に対して、真摯な姿勢が感じられなくて悲しい。政権政党の政策に地方自治の本旨に基づき、是々非々で臨もうとしない区長さんに大いに失望です。どうでもいい対症的な行政サービスなんかしなくて結構です。	O	70代、男性
転出	特にありません。	O	80代、男性
転出	選挙カーがうるさくない点はよかった。	O	20代、男性
転出	良い。	O	60代、男性
転出	今回は家庭（母）の事情で引越しましたが、将来、再び港区に戻り、生涯を終えたいと思っています。	O	70代、男性
転出	よいところであったので、機会があればまた住みたい。羽田の拡張は全国的な利益なので、ある程度の騒音は受け入れるべきだと考えるし、そのことで街の価値は下がらないと思う。	O	20代、男性
転出	港区生活、楽しかったです。	O	50代、男性
転出	立ち退き区域を増やして、貧しい人々を追い出し、金持ちばかりを区内に増やしていこうという港区が残念です。子どもの転校などしたくないのに。	O	50代、女性
転出	行き先は××です。港区には不満はありませんが、丁度良いマンションがあったため、引越しました。	O	40代、男性
転出	特段ありませんが、約4年間都心を Enjoy しました。	O	70代、男性
転出	日本を代表する都市としての港区。これからも世界の先端をいく町づくり、地球と調和した町づくりをお願いします。	O	20代、男性
転出	とても住みやすい街でした。機会があれば、又住んでみたいと思います。	O	50代、男性
転出	居住中、特段の不満はありませんでした。オリンピック、パラリンピックの成功を祈念しています。	O	50代、男性
転出	問4の回答に青山地区がありません。青山地区に住んでいた人はどこに○印を付ければいいのか書いて下さい。赤坂地区と同じであれば、その様に書いて下さい。青山地区を追加して書いてます。	O	40代、女性
転出	とても住みやすかったです。	O	30代、男性
転出	お世話になりました。ありがとうございます。	O	30代、女性
転出	たいへん満足しています。	O	40代、男性
転出	子育てしている母親達のマナーが悪い。勘違いしている田舎者が多い。	O	50代、男性
転出	また戻ってきたい地域なので、これからも住み良い街づくりをよろしくお願いします。	O	30代、女性
転出	長い年月を過ごして、とても気に入っていた街でありました。自身の事が片付きましたら、ぜひまた住みたい街であります。	O	40代、女性
転出	すてきな街でした。また戻りたいです。	O	30代、女性
転出	地域と行政と人とが一体となって盛り上げて成長できる環境を作って行って下さい。	O	20代、男性
転出	特になし。	O	60代、男性
転出	せんとろが無くなり、さみしくなったように思う。コミュニティの場がなくなった。	O	90代、女性
転出	港区に計6年住みました。きっと人生で最も気に入った街となるくらい大好きな街でした。いつか、また住みたいです。	O	30代、男性
転入	都営住宅に入居したい。支援がほしい。日本語の読み書きが苦手。聴覚障害者の手話通訳が必要。	A、K	50代、女性
転入	子育て家庭としては現在の施策に満足しております。引き続き子育て支援等行なっていただけでしたら幸いです。	B	30代、男性
転入	引越しの前には全く知らなかったのですが、子育てや出産（不妊治療含む）の支援はとても充実しており、妻と2人で驚いております。まわりの友達夫婦にもおススメしたいと思いました。	B	40代、男性
転入	港区内の歩きタバコは禁止になっており、他区と比べて歩きタバコをする人は少ないが、区営住宅の住民が歩きタバコや道路沿いで吸う姿をよく見かける。受動喫煙防止の徹底を今後も続けてほしい。子育て支援は他区と比べて、とても充実しており、本当に助かっている。保育園も新しく建てられた所が多く、待機児童も減り、私達も安心して子どもをあずけて働けている。子育て支援の充実化を今後も維持してほしいと思う。	B、F	40代、男性

A 高齢者・障害者福祉	B 子育て・育児	C 医療機関・健康	D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）
E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）	F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）	G 防災・生活安全	H 教育（図書館も含む）
I スポーツ・文化・芸術	J 買い物・物価・飲食店	K 家賃・住宅	L 国際化・国際交流
M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等）	N 税・保険料	O その他	

異動事由	内容	分類項目	年齢、性別
転入	将来も港区に住みたいと思う理由は、子育て支援の充実度が高いからです。働きながら子育ても楽しめる区政に期待します。	B	20代、女性
転入	子供に関する区政については大変満足しています。妻は「あっぱい」や「子育て支援センター」をよく利用し、助かっているそうです。ただ、駅の近くに住んでいるため夜遅くまで外がうるさいことが多く、小さい子供を育てる環境としては良くないと思うこともあります。	B、F	30代、男性
転入	無料の健康診断や保養施設など、区民サービスが充実していてとても良いと思います。引越してくるまで知りませんでした。	C、M	40代、女性
転入	道路や景観の整備に力を入れてほしい。子供がいない若い世帯であるので行政の有難さを感じることが少ない。なので、よく目にする景観の点について注力していただけるとうれしい。	D、E	30代、男性
転入	外苑西通りを品川駅方面まで通す計画があると聞きましたが、東京に道路はもう十分あり、これ以上作る必要はないと思います。白金台は歴史があり、自然豊かで閑静な東京のセントラルパークになってほしいと思います。今は目黒通りが騒々しいのと24時間開いているお店が明るすぎる気がします。	D、E	40代、女性
転入	高輪地区にバス停を増やしてほしい。	E	20代、男性
転入	財政が豊かなせいか、余裕が感じられる。要望として元麻布のテニスコート、野球場脇の道が細いので（一時工事をして少し拡張したが）木をなぎ倒してよいので車がスッとすれ違える道幅にしてほしい。	E	70代、女性
転入	自転車や歩行者が重視されておらず、市民サービスが伝わっていない。△△区の方が行政サービスが手厚い。	E	30代、男性
転入	ちいばすで行けるルートをもっと増やしてほしいです。	E	40代、男性
転入	六本木周辺の治安を強化してほしい（特に深夜）。六本木の町をよりキレイに、清潔にしてほしい。六本木周辺の歩道を広くしてくれると嬉しい（イベントなどの時、通りにくくて不便）。	E、F、G	30代、女性
転入	区内で保育士をしています。4～6月におこった事故からパトロールの強化や散歩ルート of 安全調査等ありがとうございます。改善点がしっかりと改善されることを願っています。	E	30代、女性
転入	区政を身近に感じるものがあまりなく、区の施設や支援等も利用する機会が乏しいので、今後もっと利用させていただきたいと思います。明治通り沿いにもコミュニティバスがきてくれると嬉しいです。	E	40代、女性
転入	駐輪場が少ない。だが、自転車の路駐が多くて、歩道を歩くのにすごく危ない時ある。病院が少ないと思う。不便。	E	30代、女性
転入	道路わきにゴミが捨てられており、毎朝大量のカラスが飛来し、ゴミをあさっており、通勤の迷惑。	F	50代、女性
転入	街路樹が少ない。以前はたくさんあり街の豊かさを感じていた。子育て関連も高齢者問題も大切なテーマだが、皆がお互いを思いやる心の余裕が育つよう環境を整えるのも行政として大切と感じる。	F	50代、男性
転入	芝浦海岸地区は空気がきれいではなく、トラックなども多いので、夜うるさいです。夜間のトラックなど、通行できなくなったりしませんか？	F	50代、女性
転入	歩きタバコがまだ見受けられるので、取り締まりをお願いします。	F	30代、男性
転入	洗濯物をマンションのベランダに干せないで、コインランドリーを設けて欲しい。水路が汚いし臭い。	F	40代、女性
転入	商業価値という面でのまちづくりは評価できるが、健康な生活を送る上での住環境という面でのまちづくりは日本の港区でも、このレベルなのか・・・と正直がっかりしております。（具体例：歩きタバコの多さ、古川橋周辺の渋谷川の悪臭など。）また、羽田の新空路の件について、結局どうなるのか、住民としては何をすべきなのか、説明不足が否めず、不安だけが募っています。これ以上騒音原因が増えると思うと先が思いやられます。	F、O	40代、男性
転入	スポーツ施設（ジム、プール、グラウンド、体育館など）を増やして頂きたいです。第一京浜の工事が多くて騒音に悩まされます（泉岳寺付近）。温暖化など地球、環境によい影響を与える施設や取組みを積極的に行って頂きたいです。子供と高齢者だけでなく、30～50代にもメリットのある税の使い方をして頂きたいです。以上宜しくお願い致します。	F、I	40代、女性

A 高齢者・障害者福祉	B 子育て・育児	C 医療機関・健康	D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）
E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）	F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）	G 防災・生活安全	H 教育（図書館も含む）
I スポーツ・文化・芸術	J 買い物・物価・飲食店	K 家賃・住宅	L 国際化・国際交流
M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等）	N 税・保険料	O その他	

異動事由	内容	分類項目	年齢、性別
転入	ノイズが少し大きいです。	F	20代、女性
転入	治安や空気等、環境改善、維持して頂きありがとうございます。	F	年齢無回答、女性
転入	六本木交差点付近の飲食店含む外国人労働者などが品に欠ける。	G	30代、男性
転入	□□□□の方々にとてもお世話になっております。学校のエアコン設置などこれからも頑張ってください。	H	30代、男性
転入	スポーツ施設（テニスコート）の拡充を望みます。	I	40代、男性
転入	若物向けのエンターテインメント施設が無い。	I	20代、男性
転入	〇〇区に比べて、福祉が充実していてとても良い。東麻布地区にスーパー、ドラッグストアが少なく不便。	J、M	40代、女性
転入	ホームセンターがほしい。インポートの食品が買える所がほしい（外国人向け）。	J	30代、女性
転入	大きいスーパーが近くに無い。コンビニは有るが。	J	80代、男性
転入	商店街などが少なく、生活必需品が手に入れない。	J	30代、男性
転入	六本木、△△△周辺にも安価なスーパーがあるとありがたいです。	J	30代、男性
転入	特にないが、家賃が高すぎる。若い人には住むのが難しいかと。公的住宅を拡充すべき。	K	60代、男性
転入	私は現在、港区内の保育園に勤務しています。そのため、港区からの借上げ住宅制度を利用させていただいています。しかし、その制度の利用期間は5年だと聞きました。現在の保育園での勤務にやりがいを感じており、今のところその園をやめる予定はありません。ですので、その利用期間の5年が終了してしまうと、中々経済的に苦しくなります。（まだ転職して1年なので、5年後の具体的な契約は法人と決めていませんが・・・）ぜひ、この借上げ住宅制度を無期限にいただけるとありがたいと思います。	K	30代、女性
転入	国際学級などの取組で引越を決めました。さらに教育に力を入れて下さい。	L	50代、男性
転入	住民サービスが充実していると思います。	M	70代、女性
転入	区役所（支所）の土曜窓口を検討してほしい。	M	30代、男性
転入	住所変更の際に高輪の行政センターを利用しました。男性の若い職員の方に住所変更の手続きとマイナンバーカードの発行書類を用意して頂きました。とても丁寧にスムーズに対応して頂きました。ありがとうございました。	M	30代、女性
転入	介護保険課の対応の低さ。港区ならではの価値観を理解されていない。	M	50代、女性
転入	区役所、税務署、病院など、働く人に対応して、土曜日又は平日夜間を一部でもオープンして下さい。	M	50代、女性
転入	選挙公報は、新聞折込でなく別に配布すべき。新聞をとっていない（デジタルで購読しているなど）家庭が増えているのに配布を新聞にたよるのはおかしい。□□市、〇〇市は別途に各戸配布が行われていました。住民とそれ以外の区別がつきにくい地域なのは理解しますが、是非お願いします。	M	60代、女性
転入	港区の役所の方は××区に比べて、私にとってはやさしい天使に感じた事があります。転出の時の委任状書かせるのにやっとで、その書類でなぜ転入が出来ず、又転入の委任状がいるのか、そして委任状を持って又足を運ぶ、そしてその委任状をろくろく見ず、ならばぶいてもいいのでは？役所の方、もっと考えて下さい。67才の私がこんなアンケートを書くのも大変な事を。代筆 娘。	M	90代、女性
転入	転入届の受付にとても時間がかかったのが印象的でした。（よくない意味で）	M	30代、男性
転入	転入手続き時に通常区役所でいただけると思われる「しおり」＝（ゴミの捨て方や手続きのしかた、制度の案内などが載っている冊子）をいただけなかったのがちょっと不親切だなと思いました。できれば渡していただけるとありがたいです。	M	30代、男性
転入	もっとIT化を進めて、各種手続きの効率化を実現してほしい。	M	30代、男性
転入	来たばかりであり解らない。税金が高い。住民税が高い。	N	60代、女性
転入	介護保険料が高い。	N	70代、男性
転入	区民税が高い・・・と感じます。	N	40代、女性

A 高齢者・障害者福祉 B 子育て・育児 C 医療機関・健康 D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）
 E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等） F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）
 G 防災・生活安全 H 教育（図書館も含む） I スポーツ・文化・芸術 J 買い物・物価・飲食店 K 家賃・住宅
 L 国際化・国際交流 M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等） N 税・保険料 O その他

異動事由	内容	分類項目	年齢、性別
転入	今まで△△区、□□区、○○区に住んだことがありますが、港区はとても住民の事を考えてくれていると、日々感じます。また区民へのイベント事も多く、安心できる町だと感じました。	O	40代、女性
転入	白金に10年位いましたが、住居変更は5月です。これから港区民として学ばせて頂きます。××区に会社3社を創業して3社共に良い会社に成長させて頂き良い人生と感謝いっぱいでございます。	O	90代、女性
転入	特になし。	O	20代、男性
転入	今回このようなアンケート自体に感謝致します。港区の区政に対する姿勢が伺われます。	O	60代、女性
転入	いつもありがとうございます。これからも宜しくお願いします。	O	40代、女性
転入	青山の児相は設置した方が良いと思います。	O	30代、女性
転入	特に（現状は）なし。	O	40代、男性
転入	宜しくお願いします。	O	30代、女性
転入	特に無し。	O	50代、男性
転入	できればずっと住んでいたいです。	O	50代、女性
転入	特になし。	O	40代、男性
転入	港区の充実ぶりに大変満足しています。	O	70代、男性
転入	とくにありません。	O	30代、女性
転入	特になし。	O	30代、男性
転入	イメージ、実態ともに豊かな区だと思います。今後も引き続き価値を高めてほしい。	O	30代、男性
転入	今後ともよろしく願いいたします。	O	30代、男性
転入	特になし。	O	90代、男性
転入	ふるさと納税の返礼品を充実させてほしい。	O	30代、女性
転入	これからも丁寧な対応を続けて下さい。	O	40代、女性
転入	六本木、麻布は良い街です！！	O	40代、女性
転居	スポーツセンター、介護予防センター、バス券などとても便利だと思います。	A、I	年齢無回答、女性
転居	港区は老人に優しく、いまもいきいきプラザで体操等で親切にして頂いてます。80才になり仕事もやめて今は娘の仕事、食物屋を手伝ってます。呆防止です。以前は△△だったのが防災他守られていましたが、今は安いマンションを娘の会社で借りてくれましたので管理人もなくインターホンも画像なしで不安です。80才では皆貸してくれず娘の会社で借りてるので不安です。仕事でお金も使ってしまう（□□党政策と地震）不安です。	A、K	80代、女性
転居	高齢者に対しての御心遣いに変感謝を致して居ります。有難う御座います。今後も、皆様様にご迷惑を少しでもおかけしないよう、心して生きて参りたく思っています。よろしくお願い申し上げます。	A	80代、女性
転居	24番障害者に対する福祉関係が良いと思います。	A	80代、男性
転居	私は様々な問題があり、障害者手帳を頂いていますから何も言えませんが、不動産（住まい）が見つかりませんでした。高齢である事、生活保護受給を頂いてる事で物件がありませんでした。生きる事は出来ても、生活して行く事が出来ずの状態でした。そんな中で福祉課の担当さんの明るさや優しさが大きな救いでした。有り難うございました。	A、K、M	70代、女性
転居	田舎に住む高齢者を引き取る事のできる施設等の充実を願います。	A	50代、男性
転居	子育てのしやすい港区政を希望します。保育園の充実、小学校の安全について力を入れて欲しい。公園で犯罪に子どもがまきこまれないように、常に見通しがきくよう、草木のばっさいを定期的にして欲しい。また、見まわり、巡回の回数を増やし、不審者が公園等に近づきにくくして欲しい。	B、G	40代、男性
転居	保育園の充実が必要です。羽田新ルートについて、十分な議論をお願いします。	B、O	30代、男性

A 高齢者・障害者福祉	B 子育て・育児	C 医療機関・健康	D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）
E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）	F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）		
G 防災・生活安全	H 教育（図書館も含む）	I スポーツ・文化・芸術	J 買い物・物価・飲食店
L 国際化・国際交流	M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等）	N 税・保険料	O その他

異動事由	内容	分類項目	年齢、性別
転居	貸し出し可能な図書館を増やしてほしい。（いきいきプラザ内でも良いと思います）年齢制限なく子持ちや離婚歴のある人も参加できる婚活パーティーがあると良い。（港区存在の人のみ参加可として）	B、H	40代、女性
転居	〇〇在住です。移住してから知りましたが、2025に西麻布再開発の計画を知り楽しみにしています。国際色豊かな西麻布として、色々な国籍の人と交流できる機会があると嬉しいです。2013年に生まれた子供がおりますが、その頃から保育園やあっぱい等の保育施設を充実してくださり感謝しております。××さんが区議会議員として働きかけをして下さっていますが、小学校以降も学童で給食を配給（夏休み等の長期休暇）等、港区政に期待をしております。	B、H、L	50代、男性
転居	防災行政無線の音、音色（チャイム）、声等の地域場所の見直し エリアや名称の日本語以外の案内不足（特にアクセス） 港区 web サイトの情報のわかりにくさ、リンク外れ、移動後案内なし、バリアフリー不足、子育て環境のサポート不足、保育士の衛生面ケア不足色々もったいないなと思います、価値的に。	B、D、G、L、M	50代、女性
転居	今後も、子育て世帯を応援する政策をお願いします。	B	30代、男性
転居	港区の地域の方たちはとても子供に優しく、子育てしやすい環境で、ありがたく感じています。一方、港区で働いている方たち、おそらく区外から働きに来ていて、勤務地が港区というだけの方たちは、中にはやはり子供のことをよく思わない方もいて、できるだけ配慮はしているつもりなのですが…地域の雰囲気とはギャップを感じる感じがしばしばあります。難しいのかもしれませんが、区外の勤労者の方たちにも、港区の子育て環境への理解を深めてもらえたら、もっといいまちになるのになあと残念です。	B	30代、男性
転居	風しんワクチンを自費で2018年4月に打ったのですが、その当時港区は補助がなく（抗体検査のみだった）保健所に問い合わせた際、抗体検査で風しんの流行は防げないのでワクチン補助を出すべきと言ったのですが、先日やっとワクチン補助が出たものの遅きに過ぎる対応だと思います。港区はお金があるのだからこういうことにはちゃんとお金を使うべきだと思います。	C	40代、男性
転居	港区内だけでいいので、都営地下鉄駅に地上からホーム階までベビーカーや車イスでアクセスできるようにしてほしい。せんがく寺や高輪台など、不備が多くて使えない駅が多すぎる。	D	30代、男性
転居	タワーマンションの乱立による急激な人口増加に不安を感じます。	D	50代、男性
転居	人口減、労働生産人工減が顕著な現在および将来において、無秩序と見える大規模再開発事業を許可、主導することはやめてもらいたい。歴史のある都心区にあって、古くからの自然や街並みが大規模再開発によって壊されていくのを見すごしていくしかなく、区民として残念であり、悲しい。区にしてみれば、法人税、法人事業税、所得税をより多く徴収したいのだろうが、ある程度の増収でバランスが見込まれれば、いたずらに〇〇や××等デベロッパーに開発許可を与える必要はなからう。デベロッパーがつくる建物やエリアにはには何の魅力もない。一時的にメディアの目を魅くだけで、あとは無用の構造物だ。タワーマンションしかり。港区のイニシアティブによる開発行政の政策転換を心から願う。	D、F	40代、男性
転居	虎ノ門のプロジェクトで近隣が工事現場だらけになっている。2020に向けているのはわかるが、これだけ一気に工事が始まるのは住むエリアとしては、とても環境に悪い。保育士さんの待遇改善をお願いします。新虎通りは建設時、オープンカフェなどができると聞いていたが、実際は変なスタンドや、スケートボード場？という意味不明なコンセプトばかりで、何がしたいのかよくわからないおかしいエリアになっているのが残念。	D	40代、女性
転居	商業地域も多く難しいと思うが、住環境に配慮した街作り。企業誘致を進めてほしい。	D	40代、男性
転居	水道などの工事が多い。道路工事より、公園の整備を優先していただきたい。	D	50代、男性
転居	公園の充実について、さらなる発展を期待します。みなとパークももっと遊具を設置してほしい。子育てしやすい環境作りとして、小さい子供たちが楽しく遊べる場所を増やすことが求められると思います。（すべり台、ジャングルジム、鉄棒、うんてい、砂場、噴水 etc）公園に関しては△△区に負けています。がんばって下さい。	D	40代、女性
転居	高輪消防署前の交差点のガードレールが撤去されたままになっています。□□小、〇〇小の子どもたちが通学路として沢山使う交差点ですので、早急にとりつけて頂きたいと思っております。タクシーの事故があった所ですので、宜しく願い致します。	E	50代、男性
転居	①無電柱化を隅々まで実行してもらいたい。②道路が狭いので、一方通行を実施してもらいたい。以上。	E	80代、男性

A 高齢者・障害者福祉 B 子育て・育児 C 医療機関・健康 D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）
 E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等） F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）
 G 防災・生活安全 H 教育（図書館も含む） I スポーツ・文化・芸術 J 買い物・物価・飲食店 K 家賃・住宅
 L 国際化・国際交流 M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等） N 税・保険料 O その他

異動事由	内容	分類項目	年齢、性別
転居	①××在住です。北里通りの電柱が災害時に倒れないか心配です。道が入り組んでいるため、電柱が倒れると車での救助ができなくなり、大規模な2次災害がおこる可能性があります。景観も重要ですが、人命の観点からも無電柱化の推進を期待しています。②どんぐり公園のある白金台5丁目の歩道に、歩行者用信号がありません。小さい子供が交通事故にまきこまれる可能性があるため、信号を設置いただけませんか。	E	50代、男性
転居	都心の利便性が充分にあり（インフラが整っている）住みやすい環境だと思います。	E	70代、男性
転居	I really enjoy uving in Minato-ku.Thank you for your on-going support.would be great if the chi-bus（ちいバス）route from 港南4丁目 .could be improved to connect to Roppongi（六本木）or Omote-sando or other parts of 港区 .Right now it Mainly goes to 品川駅 or 田町駅 only.Thank you.	E	40代、女性
転居	自転車のマナーがとにかく悪すぎる。道路に書いてある自転車用のブルーのラインは何の意味もなく、税金の無駄だと思います。また、引越し前は路上喫煙の吸いがらを自宅前に捨てられ、本当に迷惑しました。犬のフンも同様です。自転車からも税金を徴収して、道路整備に充てるべきです。	E	50代、男性
転居	歩道がせますぎる。車がかかわせない道路幅なのに一方通行ではない点。	E	40代、男性
転居	目の前の並木道に電線がかかっている、台風の時などあぶない。ぜひ地下化して欲しい。	E	50代、女性
転居	現在△△駅付近に住んでいますが、自転車を駅前にとめっぱなしの方が多すぎて、非常に通りにくいです。警告のシールをされているようですが、全く無意味です。歩道と自転車用の道に分けられているなど、放置自転車のせいで動線がめちゃくちゃになっていて、時々文句を言っている方もみられます。早急に改善をお願いします。よろしくお願いします。	E	40代、男性
転居	青山地区に住んでいますが、電柱が道路に出たり、道路の幅が狭く、歩行者に危険を感じる人が多い。電柱の地下化を検討していただきたい。	E	50代、男性
転居	台場エリアのカートや暴走車両がめいわく。	E	50代、男性
転居	高輪新駅の港南側へのアクセスが弱い（出口ヶ所？）。小学校の教員の増員（クラス1人あたりの人数が多い。芝浦、港南）。支所窓口へのキャッシュレス決済の導入。	E、H、M	40代、男性
転居	狭く歩きづらい歩道が多いので（逆方向へ歩く人とすれちがう時）、ガードレールを幅を取らないものにするなど、工夫して頂けるとありがたいです。歩道の自転車通行を禁止して欲しい。危ない場面をよく目にします。	E	50代、男性
転居	ちいばすで乗りつぎしやすいと、港区内で色んなところに行きやすい。	E	30代、女性
転居	芝浦地区にモノレールの新駅を作ることと利便性の向上が図られる。	E	40代、男性
転居	白金地区にもちいバスが回っていると嬉しい。六本木、表参道方面。歩道が狭く不便。外国籍の配偶者の為、国際性が高い面はとてありがたい。英語表記、外国語での医療の充実度など。	E、L	50代、男性
転居	歩道橋の老朽化に対して、補修をして欲しい。横断歩道の接地場の再確認。田町駅、みなとパーク芝浦へ行く動線（道や歩道）を見直していただきたいです。マンション（特にベランダ）でタバコを吸う人が歩いている時みかけます。受動喫煙対策をもっとしていただきたい。	E、F	50代、女性
転居	他区にくらべて充実しているほうだと思う。港南地区に住んでいますが、これから交通機関をもっと便利になるとうれしい（バスは充実している）。	E	50代、男性
転居	品川駅から白金高輪駅への交通機関の利便性を高めて欲しいです。	E	40代、男性
転居	電柱地中化をもっと進めてほしい。表通り等は、だいぶ良くなっているが、奥に入るとひどい。道路中とか問題があるらしいが、策を考えてほしい。又、緑をもっと増やしてほしい。	E、F	90代、女性
転居	電柱を地下に埋めて下さい。	E	50代、男性
転居	港区に引越して思ったことはとても便利で生活しやすいと思った。どこでも、ワイファイが使えるし、公共の交通機関もじゅうじつしていて、便利（大江戸線以外）だと思います。欲を言うともうすこし自然を感じることができたらいいと思いました。	E、F	30代、女性

A 高齢者・障害者福祉	B 子育て・育児	C 医療機関・健康	D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）
E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）	F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）		
G 防災・生活安全	H 教育（図書館も含む）	I スポーツ・文化・芸術	J 買い物・物価・飲食店
L 国際化・国際交流	M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等）	N 税・保険料	O その他

異動事由	内容	分類項目	年齢、性別
転居	安全な自転車の乗り方についてもっと呼びかけてほしい。駅近なのに、交番が遠い。昔は第一京浜上に三田警察署があるから田町駅に交番がないと教わった事がありますが、交番はあってもなくても自転車の信号無視や危険走行はなくなりません。人がよけることができるのは健常者ぐらいかと。先日白内障の手術を受けるまでは霞がかかった中を歩いているようで、前方、左方、右方からの人や車や物の位置を上手くはあく出来ませんでした。また、高齢者も多いのでますます慎重さが求められると思います。2020年のオリンピックでは更に人や自転車がごった返すかもしれません。安全な街への取り組みのひとつとして願います。	E	50代、女性
転居	港南の高浜運河がドブ化している。悪臭がひどい。水が泡立っているの、改善対応してもらいたい。	F	60代、男性
転居	芝浦港南地区にはすばらしい運河がありますが、水質が悪く、臭いがひどいです。どうにかして水質改善出来ないものなのでしょうか？悪臭公害の原因を調査頂き、要因となる企業、設備、他への改善、指導を実施する事を願いたい。	F	50代、男性
転居	□□に住んでいます。飲食店が多いのは分かっていて引っ越して来たのですが、ゴミや汚物がひどすぎます。特にたばこの吸殻、食べ残し、嘔吐物でマンションの周りが汚いです。ゴミに対する取締りの強化や飲食店の呼び込みの人たち（多くの人が路上でたばこを吸いながら声をかけています）へのマナー教育をお願いします。	F、G	30代、女性
転居	飲食店を全て禁煙にしてほしい。	F	40代、男性
転居	新しい高層ビルを次々と建てるより、もうちょっと自然を増やしてくれれば、子供ができてここで住みつけられると思います。	F	30代、男性
転居	古川橋において、古川からのどぶににおいがする時がある。一橋交差点でも同様。その他、特に不満なく快適に過ごしています。	F	50代、女性
転居	転居前も芝浦港南地区に居住していたが、治安も良く、週末は静かで暮らしやすい。運河周辺の整備もしっかりしており、美しい景観で良いと思う。文化施設も充実しているので、今後も住みたいと思う。家賃がとても高いので、それがもう少し低くなって欲しい。	F、G、I、K	50代、男性
転居	引越前はURから民間会社に管理会社が変わり最悪（そうじなどの管理）になったため引越しました（JKK）。どちらも言えますが、台場1丁目（JKK）は音がひどすぎる。	F、K	50代、男性
転居	麻布地区は芝地区と比べ、みなとパトロールをあまり見かけません。	G	50代、男性
転居	週末の夜の治安が悪い。麻布、六本木地区。区外から遊びに来た若い人がさわいでいるのをよく見かけます。子供と一緒に歩く時に不安です。	G	40代、男性
転居	暮らしやすい港区が大好きです。いつもご尽力頂きありがとうございます。麻布周辺の右翼団体の騒がしさだけなくなれば、本当に最高の街だと思います。	G	30代、女性
転居	治安は大事だと思います。暗い道がないようにして頂きたいです。	G	40代、男性
転居	国際性豊かではあるが、どちらかというと…マナーや治安の悪さばかりが目立っている。外国人（観光客を含む）が住みやすい、訪れやすいだけでなく、彼らのルールやマナーの向上をそくす活動にも力をいれてほしい。現状、ただ多くの外国人がいるだけで、メリットなどは感じない。	G、L	40代、男性
転居	耐震対策について更に進むよう、街の一般市民に分かり易く港区が進めている支援活動をアピール頂きたいをお願いします。	G	50代、男性
転居	回答が遅くなりまして申し訳ありません。かつては約17,8年住んでいた所なので、当然、友人、知人がたくさん出来ましたので、毎月1～4回位、その方達とお茶や食事会、又、飲み会をやっています。その会話の中で最近（2～3年前位から）西麻布（特に〇〇通り）の雰囲気が悪い方になって来たとの心配の会話が多くなって来ました。例をあげますと、屋台を8軒ばかり集めたビルが最も目につくそうです。深夜遅く迄営業しているし、大型の外車、黒のワンボックスカーが列をなして交通のじゃまをしているし、近所の家の窓や立ち看板をこわしたり、植木を倒したりと目にあまる行為、何とかならないかと本当に心配しています。※或る時若者が建物の隅で現金（1万円札）10万円づつ束場にしてくべている現場を見たとの事。（普通の人は路上でそんな事はしませんよね。）ある人の推理として、オレオレサギの手先が現金を分け合っているのではないかと。すみません。もっと書きたい事がありますが、とに角住民が安心して住みやすいよう治安の方を麻布署と相談の上、取り締まりをよろしく願いたいします。※最近パトカーが来て、不法駐車を取り締まっているそうですが、パトカーが居なくなると、又すぐ大型車等が列をなしているそうです。	G	年齢無回答、性別無回答

A 高齢者・障害者福祉 B 子育て・育児 C 医療機関・健康 D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）
 E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等） F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）
 G 防災・生活安全 H 教育（図書館も含む） I スポーツ・文化・芸術 J 買い物・物価・飲食店 K 家賃・住宅
 L 国際化・国際交流 M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等） N 税・保険料 O その他

異動事由	内容	分類項目	年齢、性別
転居	納税額の割にまだまだサービスが足りない。治安問題含め反グレなどのグレーゾーンを区の特例等でコントロールする位の思いきった施政を望む。役所処理能力（1F 印鑑証明その他）の遅さ（本庁）が気になる。	G、M	60代、男性
転居	教育委員会主催で小学校（高学年）中学校の共通テストの実施、結果発表の工夫。	H	90代、男性
転居	南青山地区に図書室があるとうれしいです。「子ども家庭総合支援センター」が近く建設されますが、その中に作ることはできないでしょうか？	H	50代、女性
転居	山手線新駅の銘名について、何故「高輪ゲートウェイ」としたのか。1、公募したのに上位の駅名とならず、大分下位の JR が提出した駅名となった。区のお考えも合わせて承りたい。公募の結果が無視された結果を JR に説明してもらいたい。2、その後の情報によるとリニアの駅は今の JR 品川駅地下となるという。これでは全くリニアと新駅は無関係になるのか？ますます公募の意義が消滅しかかっている。3、区立図書館の（男子）大トイレにしゃがみ込み式が多く、椅子式が極めて少ない。現代的に改造してください。一寸、港区（日本の中心地の一つ）のトイレとしては場違いです。中期的に計画して直してください。高輪・三田の図書館にお世話になっています。館長さんは気がつかないのかな？	H、O	90代、男性
転居	スポーツセンターにとっても満足しています。	I	30代、男性
転居	年々、物価が上昇している感じがする。買い物ができる場所を増やしてほしい。	J	40代、男性
転居	赤坂も買い物が便利で特に不満はなかった。転居の理由は長女の家が近いこと。又、新居が免震であること。（旧マンションは制震でゆれた。）	J	80代、男性
転居	高齢者が増す。そして困窮者が増える。住宅不足が、出来たら、都、区営のアパートを多量に作って不安を無くして欲しい。	K	70代、男性
転居	母子家庭が入れる区営をもっと作ってほしい。	K	50代、女性
転居	去年、りこん手続きの際、窓口で大口で色々説明されてデリカシーのない人が多いなと思いました。相手の気持ちを考えられない人が窓口対応する事に不快な思いをしました。	M	40代、女性
転居	ゆき届いたサービスに感謝したい。	M	70代、男性
転居	区役所で手続きする書類等をインターネットで申し込み、発送してほしい。	M	30代、男性
転居	みなと区の広報のペーパーをたまに見るが、どれも高齢の方を対象としたイベントばかりで、興味をひかれない。せっかく COST をかけて発行しているのだから、もう少し対象を考えて発行してはどうか。	M	50代、男性
転居	固定資産税が高すぎます。単身者への支援はなぜ何もないのでしょうか。健康診断以外で有益な情報等受け取ったことがないと思います。	N	40代、女性
転居	住民税が高い。	N	30代、女性
転居	特段なし。税金が高すぎる（無駄遣いが多いのでは）。価値観など多様化しているなかで、政策を創造することが意味ない。私は後追い世直しで良い。それも早追いでなければいけないと思っている（自論）。政策形成→立法政策→立法技術など全国自治体で研修しています。約800自治体。	N、O	90代、男性
転居	特にありません。	O	50代、男性
転居	港区に住んで70年。住みやすく落ち着ける街です。悪い変化はあまりなく、よくなっている所が沢山。ずっと港区です。ありがとう。	O	80代、男性
転居	お手厚い区政に感謝しています。	O	80代、女性
転居	同マンション内での引越しであるため、問9の回答はありません。	O	50代、女性
転居	いつもありがとうございます。	O	40代、男性
転居	私90才になります。持家が古く、95年もすぎました。廻りが呑家ばかりです。私も建てかえ新築にして、やはり呑家におかしする事になりました。回答がわかりにくいと思いますが、失礼させていただきます。	O	90代、女性
転居	もうすこし子供、高齢者、学生など、縦のつながりのある社会（地域）になってほしい。	O	50代、女性
転居	港区にお世話になり約50年になり、子供達も小、中学校もお世話になり、高校、大学は他区でしたが、立派に独立してくれました。自分達もここが一番好きで、大変満足して生活ができました。何の不満もなく、しかし UR の建替の話があり、悩んでいましたが、目の前の所に運良く入ることができ、これ以上の幸せはありません。感謝です。	O	80代、男性

A 高齢者・障害者福祉 B 子育て・育児 C 医療機関・健康 D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）
 E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等） F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）
 G 防災・生活安全 H 教育（図書館も含む） I スポーツ・文化・芸術 J 買い物・物価・飲食店 K 家賃・住宅
 L 国際化・国際交流 M 区役所・職員に関すること（サービス・施設等） N 税・保険料 O その他

異動事由	内容	分類項目	年齢、性別
転居	羽田空港の利便性の良さは承知しているが、住宅街上空を飛行することは回避して欲しい。街や街路の緑を守るについては、もっと大々的にボランティアを活用することを考えて欲しい。ニューヨークのセントラルパークもボランティアによって運営されている。募集されれば応募したいと思っている。	O	70代、女性
転居	児童相談所（青山地区）の新設におけるプロセスでは地域住民への配慮をしていただきたかったです。	O	50代、女性
転居	マイノリティ、LGBT にやさしい施策を早く進めてほしい。	O	50代、男性
転居	引越はしたくないのだけれど、妻は頸椎症でデイサービスで3階から1階まで階段を降り、入院、現在車イス!! 私は昨年、〇〇病院より口腔がんと診断を受け、手術を受け、以降声はまったく出ず、会話もゼロ、△△、□□さんもがんばっているし、1日1日を大切に生きてます。長い間港区に住まわせて戴きありがとうございます!	O	年齢無回答、性別無回答
転居	南青山の児童相談所は間違っていると思う。高額納税者が港区から出て行ってしまう。他に場所があったと思う。	O	50代、女性
転居	長年港区に住んでいて住みやすい安心な区であると思っています。質の良いオーナーさんが経営しているマンションはたくさんめぐり逢えたけど現在は便利さを重視しております。	O	70代、女性

V 公的統計との比較分析

1 母集団（引越し者全体）と本調査回答者の公的統計を用いた比較による標本の偏りの確認

(1) 年齢分布

若年層では20代の回答率が特に低く、高齢層では70～74歳の回答率が特に高い。

ここでは、本調査の標本と母集団の年齢別分布を比較し、標本に偏りがいないか確認する。異動届の一番上に記入された方が本調査の対象者であるが、調査対象者の年齢5歳階級別の分布を標本（回答者）と母集団（住民基本台帳データ上の対象者全員）とで比較することで標本の偏りを検証する。

図表5-1は標本と母集団の5歳階級別の割合の分布を示したものである。転出・転入において25～34歳までの若い世代が最も多くの割合を占める点や、転居において移動のピークが30～49歳にある点などは共通している。また、標本（A）と母集団（B）の5階級ごとの割合の差を列「A-B」に示した。差が±5ポイントを超えているのは転出の「25～29歳」で-8.3ポイント、「70～74歳」で+6.2ポイント、転入の「18～24歳」で-6.4ポイント、「25～29歳」で-6.4ポイント、転居の「25～29歳」で-6.2ポイント、「70～74歳」で+12.4ポイント、合計の「25～29歳」で-7.3ポイント、「70～74歳」で+6.4ポイントであった。

一般に、20代の若者は行政が実施する世論調査等のアンケートの回答率が低い傾向にあるが、本調査においても同様に20代の回答率が低いという傾向が認められる。また、「70～74歳」は顕著に回答率が高い。一般に行政が実施する世論調査等のアンケートでは、定年を迎え時間的なゆとりが増える65歳以上の回答率が高くなる傾向があるが、本調査の「65～69歳」の割合の差（A-B）はわずかに+1.2ポイント（合計）にとどまり、「75歳以上」の割合の差（A-B）は-2.8ポイント（合計）となっている。

図表5-1 標本と母集団の5歳階級別分布

	転出			転入			転居			合計		
	標本 (A)	母集団 (B)	A-B	標本 (A)	母集団 (B)	A-B	標本 (A)	母集団 (B)	A-B	標本 (A)	母集団 (B)	A-B
18～24歳	7.4%	9.2%	-1.8ポイント	9.2%	15.6%	-6.4ポイント	0.0%	2.7%	-2.7ポイント	6.8%	10.8%	-4.0ポイント
25～29歳	13.1%	21.4%	-8.3ポイント	17.9%	24.3%	-6.4ポイント	5.2%	11.5%	-6.2ポイント	13.6%	20.9%	-7.3ポイント
30～34歳	19.7%	20.2%	-0.5ポイント	21.4%	18.1%	3.4ポイント	12.6%	16.9%	-4.3ポイント	19.1%	18.7%	0.5ポイント
35～39歳	13.5%	13.7%	-0.2ポイント	11.7%	12.8%	-1.1ポイント	13.5%	16.9%	-3.4ポイント	12.8%	13.9%	-1.1ポイント
40～44歳	10.7%	10.0%	0.6ポイント	12.8%	9.0%	3.7ポイント	16.1%	14.0%	2.1ポイント	12.5%	10.3%	2.1ポイント
45～49歳	8.2%	7.3%	0.9ポイント	6.6%	6.5%	0.1ポイント	14.8%	11.4%	3.4ポイント	8.7%	7.7%	1.1ポイント
50～54歳	6.1%	5.6%	0.6ポイント	4.1%	4.6%	-0.6ポイント	11.3%	8.3%	3.0ポイント	6.2%	5.7%	0.6ポイント
55～59歳	7.0%	3.9%	3.1ポイント	6.1%	3.3%	2.8ポイント	5.7%	5.0%	0.7ポイント	6.4%	3.8%	2.6ポイント
60～64歳	4.1%	2.3%	1.8ポイント	2.0%	1.9%	0.1ポイント	3.0%	3.4%	-0.4ポイント	3.1%	2.3%	0.8ポイント
65～69歳	2.5%	1.7%	0.8ポイント	3.1%	1.1%	2.0ポイント	3.0%	2.4%	0.6ポイント	2.8%	1.6%	1.2ポイント
70～74歳	7.8%	1.6%	6.2ポイント	5.1%	1.1%	4.0ポイント	14.8%	2.4%	12.4ポイント	8.0%	1.5%	6.4ポイント
75歳以上	0.0%	3.1%	-3.1ポイント	0.0%	1.6%	-1.6ポイント	0.0%	5.2%	-5.2ポイント	0.0%	2.8%	-2.8ポイント

（注）赤枠は標本と母集団の割合の差が5%を超えた値を示す。

出典：港区「住民基本台帳」

（２） 転入前・転出後住所及び引越し時期

転入前・転出後住所や引越し時期に住民基本台帳統計と大きな差異はない。

ここでは、総務省「住民基本台帳人口移動報告」の結果の結果を用いて、本調査の回答者と母集団の転出後住所別分布、転入前住所別分布、引越し時期別分布を比較し、標本に偏りがいないか確認する。いずれのデータも住民基本台帳上の記録で平成30年4月1日から平成31年3月31日までに港区から転出した人と港区へ転入した人を調査対象としているという点では共通している。データの違いとしては、住民基本台帳人口移動報告が全数調査であることに対して本調査は標本調査であること、住民基本台帳人口移動報告が人数を集計しているのに対して本調査は世帯数を集計していることなどが挙げられる。

ア 転入前・転出後住所

図表5-2は引越し前後住所の地域別の割合であるが、転出入調査と住民基本台帳人口移動報告の結果はおおむね一致しており、引越し前後の地域という点においてその傾向は公的統計と大きな差異はなく、サンプルに偏りは認められない。

図表5-2 転出後住所と転出前住所、住民基本台帳人口移動報告との比較

	転出入調査		住民基本台帳人口移動報告	
	転出後住所	転入前住所	転出後住所	転入前住所
東京都内（23区内）	59.6%	50.3%	60.6%	51.6%
東京都内（23区内）	4.5%	5.3%	4.1%	4.9%
近隣3県（神奈川・埼玉・千葉）	19.4%	21.1%	17.1%	18.7%
その他の地域（国内）	16.5%	23.4%	18.2%	24.8%

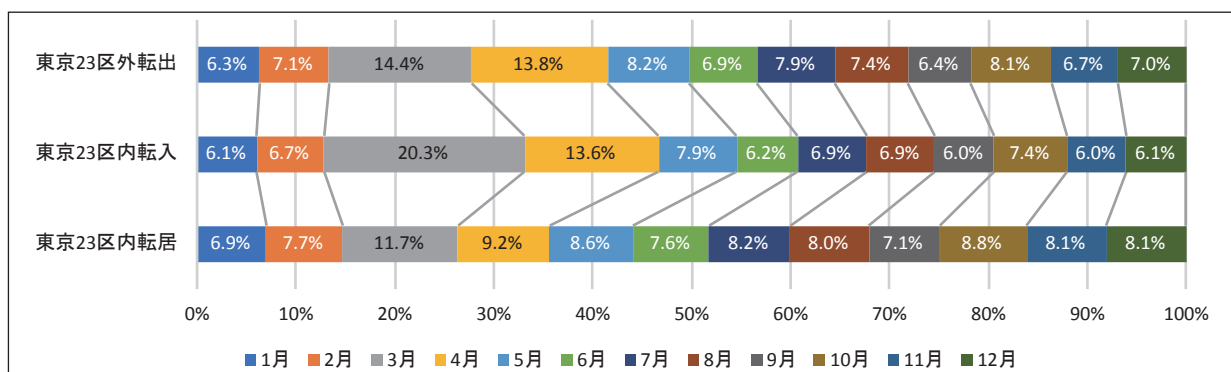
（注）転出入調査の無回答は本集計から除いた。転出前住所が国外の場合も本集計では除いている。

出典：総務省「住民基本台帳移動報告（平成30年）」より作成

イ 引越しの時期

引越しの時期について問7の結果と住民基本台帳人口移動報告の結果を比較してみる。図表5-3は平成30年の住民基本台帳人口移動報告における東京23区内から東京23区外への転出、東京23区外から東京23区内への転入、東京23区内転居の月別の割合を示したものである。本調査回答者では転出・転入・転居共通した傾向として3月だけ他の月よりも移動の割合が高かったが、住民基本台帳人口移動報告の結

図表5-3 東京23区外転出、区内転入、区内転居の時期



出典：総務省「住民基本台帳移動報告（平成30年）」より作成

果では、転出・転入においては3月だけでなく4月も移動の割合が高く、4月の割合が本調査回答者と比較してやや高い。また、住民基本台帳人口移動報告の結果では3月の区内転居の割合が本調査回答者と比較してやや低いなどの違いが見られるが、全体としてその傾向は公的統計と大きな差異はなく、この側面においてもサンプルに偏りは認められない。

2 区内在住者全体と比較した本調査回答者（引越し者）の特性の分析

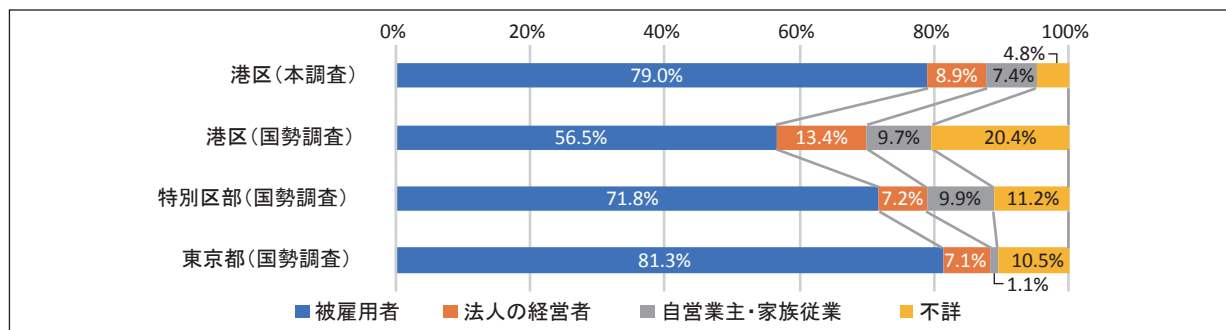
（1） 従業上の地位の特性

引越し者を対象とした本調査においては転勤のある「被雇用者」の割合が在住者全体の平均像よりも高い。

ここでは、本調査回答者の職業と平成27年国勢調査における在住者の従業上の地位の分布の比較を行う。本調査問2の職業を国勢調査の分類に従って以下のように再分類した。「会社員・団体職員・公務員」と「アルバイト・パートタイマー」は「被雇用者」に再分類した。また、「自営業主・家族従業」と「法人の経営者」については再分類を行っていない。「家事専業」、「学生」、「無職」、については就業者ではないので集計から除いてある。

港区の国勢調査における在住者に占める被雇用者の割合は56.5%なのに対し、引越し者を対象とした本調査回答者に占める割合は79.0%であり、転勤などで引越ししやすい「被雇用者」の割合が高くなっている。また、国勢調査における在住者の傾向として、東京特別区部や東京都全体と比較した場合、港区は「法人の経営者」の割合が多いのも特徴であるが、引越し者を対象とした本調査においてはその特徴は見られない。

図表5-4 従業上の地位の構成割合の比較



出典：総務省「平成27年国勢調査」より作成

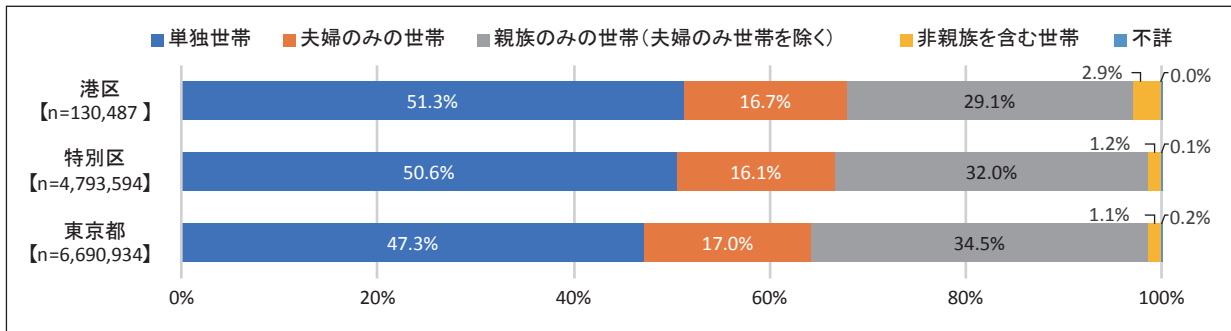
（2） 家族類型の特性

引越し者対象の本調査では「単独世帯」がやや少なく「二人世帯」がやや多い。

ここでは本調査回答者と平成27年国勢調査における在住者の家族類型の分布の比較を行う。

図表5-5は東京都・特別区・港区の家族類型別世帯数の割合を示したものである。東京都・特別区・港区に共通して、単独世帯がおおよそ50%、夫婦のみの世帯がおおよそ17%となっている。本調査問3の結果（（再掲）図2-3-1-1）における転出・転入・転居の合算では、引越し前・引越し後ともに、単独世帯がおおよそ40%であり、二人世帯はおおよそ30%であった。国勢調査における在住者のほうが「単独世帯」の割合が高く、二人世帯に該当する「夫婦のみの世帯」の割合が低い。「夫婦のみの世帯」は結婚や出産など引越しにつながりやすいライフイベントとの関係が強いため、引越し者を対象とする本調査に含まれやすいと考えられる。

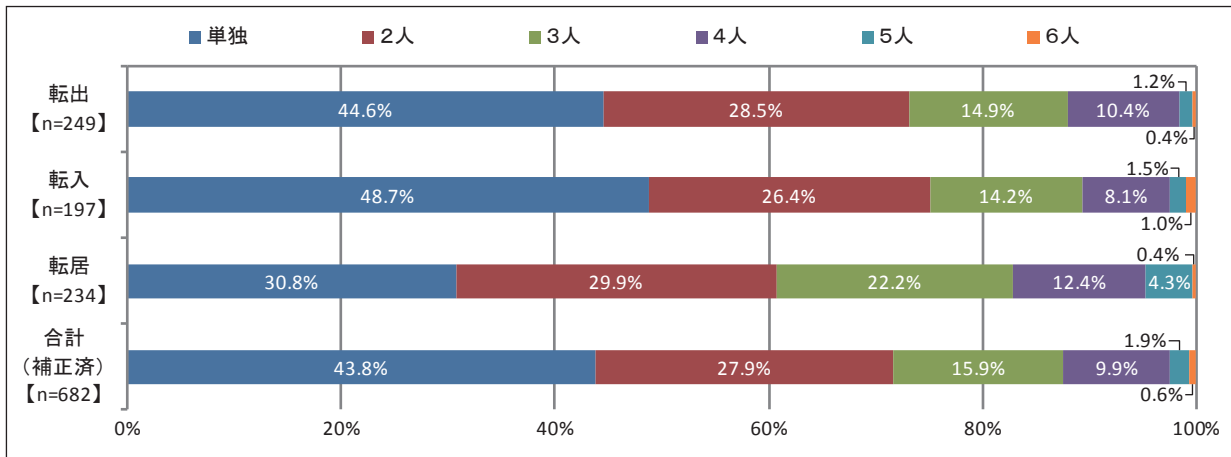
図表5-5 東京都・特別区・港区の家族類型別世帯数の割合



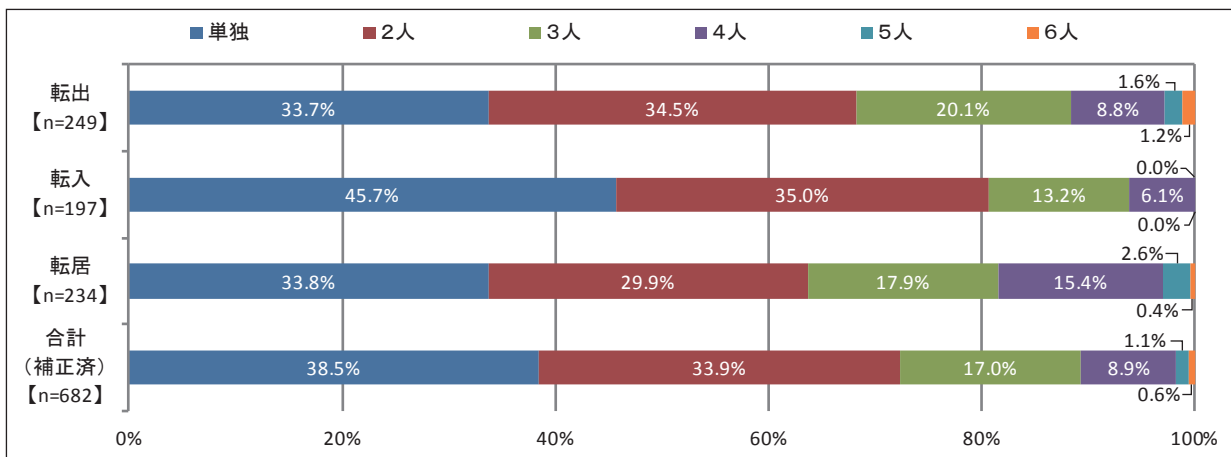
出典：総務省「平成27年国勢調査」より作成

(再掲) 図2-3-1-1 引越し当時の世帯の人数

【引越し前】



【引越し後】



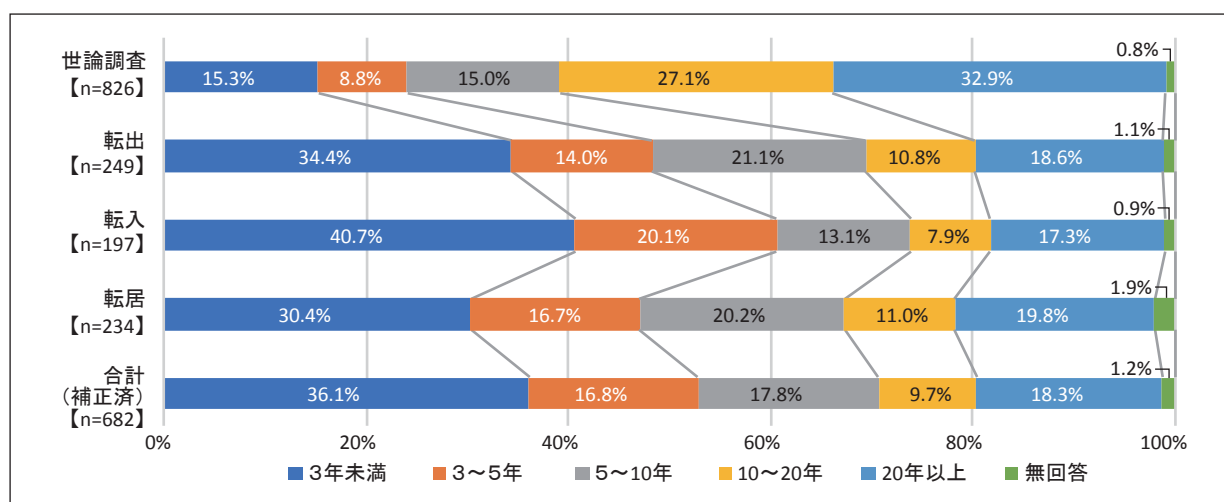
(3) 居住期間の特性

引越し者を対象とした本調査では世論調査と比較して居住歴が浅い人が多い。

ここでは、本調査の回答者の居住歴と平成29年度港区「世論調査」における港区民全体の居住歴の分

布の比較を行う。図表5-6は世論調査と本調査の回答者の居住歴別の分布である。本調査においては居住期間が「3年未満」での異動者が3割以上を占めるが世論調査においては15.3%にとどまる。10年以上の長期の滞在者も、世論調査においては約6割を占める一方、本調査においては3割に満たない数字である。転出、転入、転居のいずれにおいても引越し者は区内在住者と比較して居住期間が比較的短い層が多いという特徴がある。

図表5-6 世論調査と本調査の居住歴の分布



出典：港区「第31回世論調査（平成29年度）」

（４） 転出理由と転出意向を有する区民の理由

港区外への転出理由に関して、地区別集計結果は港区世論調査とおおむね整合的である。

在住者のうち将来の転出意向を有する区民がその理由として、港区に不満を抱いている事項と、本調査回答者が港区に不満を有している事項の分布の比較を行う。平成29年度の港区「世論調査」において、「あなたはこれからも港区に住み続けたいと思いますか」という質問に対して「しばらくは住むつもりだが将来は区外に転居したい」、「近いうちに区外に転居したいが、具体的な計画はない」、または「近いうちに区外に転居する予定である」と回答した方に対してその理由を尋ねている。

図表5-7は5地区別に港区からの転出を検討している理由を集計したものである。なお、この問いは調査時に転出意向のある区民のみを対象としており回答総数が少ないためあくまで参考値に過ぎない。

世論調査と本調査の間9の地区別集計結果を比較すると、全地区共通の傾向としては「地代・家賃の負担が大きい」と「住宅が狭い」となど住居に関する不満、「自分や家族の就職・転職・転勤のため」など仕事の都合、「商店がない」など日常生活の便が悪いと「買い物環境に対する不満」といった理由が上位に位置している。これは本調査の結果と同様の傾向であるといえる。また地区ごとの特徴として、治安を気にする人が麻布地区と赤坂地区に多い点、麻布地区の買い物環境の不満は他地区と比べて低い点についても世論調査と本調査の結果と同様の傾向である。

図表5-7 5地区別港区からの転出を検討している理由

	回答者数	自分や家族の就職・転職・転勤のため	商売が不振のため	地代・家賃の負担が大きい	固定資産税・相続税の負担が大きい	住宅が狭いため	日照・騒音などの環境が悪い	治安上安心して暮らせない	商店がないなど日常生活の便が悪い	地域のコミュニティが希薄で寂しい	子供の教育環境が悪い	立ち退きをせまれている	結婚など家族関係の変化のため	その他	無回答
芝	14	35.7%	0.0%	50.0%	7.1%	35.7%	7.1%	0.0%	35.7%	14.3%	14.3%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%
麻布	14	28.6%	0.0%	42.9%	14.3%	21.4%	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	21.4%	21.4%	0.0%
赤坂	7	28.6%	0.0%	42.9%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
高輪	18	22.2%	11.1%	33.3%	16.7%	27.8%	27.8%	0.0%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	27.8%	0.0%
芝浦港南	18	33.3%	0.0%	33.3%	5.6%	44.4%	0.0%	0.0%	33.3%	5.6%	11.1%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%
無回答	3	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%

出典：港区「第31回世論調査（平成29年度）」

3 港区への評価と客観的な状況との比較

ここでは、引越し前の地域で不満だった点、引越し先を選んだ決め手になった点等（問9（1）～（3））の回答と統計データで把握される客観的な状況を比較し、回答者の評価と実態の差異を把握する。本調査における回答結果は以下のとおりである（（再掲）図表3-2-1-1～6）。

【転出】

（再掲）図表3-2-1-1 「転出」における引越し前の地域で不満だった点（上位5位）

順位	引越し前地域での不満	割合
1	住宅価格・家賃	52.4%
2	買い物のしやすさ	42.3%
3	飲食店の充実度	18.3%
4	自然の豊かさ	16.3%
5	治安	12.0%

（再掲）図表3-2-1-2 「転出」における引越し先を選んだ際決め手になった点（上位5位）

順位	引越し先を選んだ際の決め手	割合
1	住宅価格・家賃	41.7%
2	勤務先との近さ	34.8%
3	買い物のしやすさ	33.5%
4	公共交通機関の利便性	33.0%
5	自然の豊かさ	20.0%

（再掲）図表3-2-1-3 「転出」における引越した後不満を感じている点（上位5位）

順位	引越し後不満に感じている点	割合
1	公共交通機関の利便性	26.9%
2	勤務先との近さ	22.0%
3	飲食店の充実度	19.9%
4	買い物のしやすさ	19.4%
5	道路交通の利便性	11.3%

【転入】

(再掲) 図表3-2-1-4 「転入」における引越し前の地域で不満だった点 (上位5位)

順位	引越し前地域での不満	割合
1	勤務先との近さ	42.7%
2	公共交通機関の利便性	42.0%
3	飲食店の充実度	21.0%
4	買い物のしやすさ	20.3%
5	治安	16.1%

(再掲) 図表3-2-1-5 「転入」における引越し先を選んだ際決め手になった点 (上位5位)

順位	引越し先を選んだ際の決め手	割合
1	勤務先との近さ	62.8%
2	公共交通機関の利便性	50.0%
3	まちのイメージ	39.4%
4	治安	23.3%
5	景観・街並み	21.7%

(再掲) 図表3-2-1-6 「転入」における引越した後不満を感じている点 (上位5位)

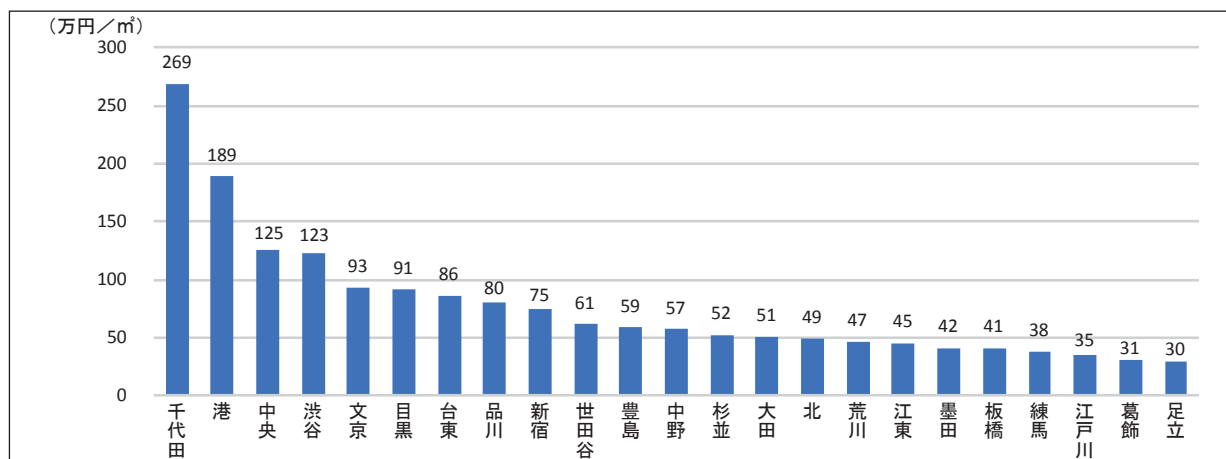
順位	引越した後不満に感じている点	割合
1	買い物のしやすさ	49.7%
2	住宅価格・家賃	42.8%
3	飲食店の充実度	23.4%
4	自然の豊かさ	11.0%
5	治安	10.3%

(1) 住宅地価格

特別区の中で港区の住宅地価格は千代田区に次ぐ2位で世田谷区の3倍の高さである。

「家賃・住宅価格」をきっかけに港区から転出する人が多いことを踏まえ、港区の住宅地価格を分析する。図表5-8は国土交通省の「平成31年地価公示」で公表されている東京都特別区の住宅地の平均価格である。平均価格が最も高いのは千代田区で1平方メートルあたり269万円、次いで高いのは港区で189万円である。これは特別区23区の中央値にあたる世田谷区の61万円のおよそ3倍に相当する。実態としても他地域と比較して無視できない大きさの地価の較差があると言える。

図表5-8 東京都特別区の住宅地の平均価格



出典：国土交通省「平成31年地価公示 第6表」

（２） 買い物困難世帯

買い物困難世帯は赤坂・高輪・芝浦港南地区で3割超となっている。

「買い物が不便である」ことをきっかけに港区から転出する人が多く、転入者も港区に対し「買い物の利便性」を不満に感じている人が多いことを踏まえ、港区の買い物利便性を分析する。

農林水産省農林水産政策研究所では、「自宅から生鮮食料品販売店舗までの直線距離が500m以上であり、かつ、自動車を保有しない人口」を買物弱者と定義して国勢調査及び商業統計を用いた推計をおこなっている。また、経済産業省が平成23年5月に公表した「買物弱者応援マニュアル ver.2.0」では、「生鮮三品（青果、鮮魚及び精肉）を取り扱う店舗を中心とした半径500mから1km（高齢者の平均的な徒歩移動可能距離）の円外に居住する単身又は二人暮らしの65歳以上の者」を買物弱者として推計する方法を紹介している。

今回の転出入調査において、港区では年齢によらず買い物のしやすさに不満を抱いている人が一定数いたことから、全年齢として、対象に「近隣に飲食料品小売業が少ない」場所に居住している世帯を「買い物困難世帯」と呼ぶことにする。ここでは、「近隣に飲食料品小売業が少ない」状態を、平成26年商業統計メッシュデータより、各500mメッシュにおける飲食料品小売業の事業所数が2つ以下と定義して、買い物困難者世帯数を推計する。その結果は図表5-9のようになり、芝浦港南地区の43%が最も多く、芝地区の15%が最も小さくなっている。

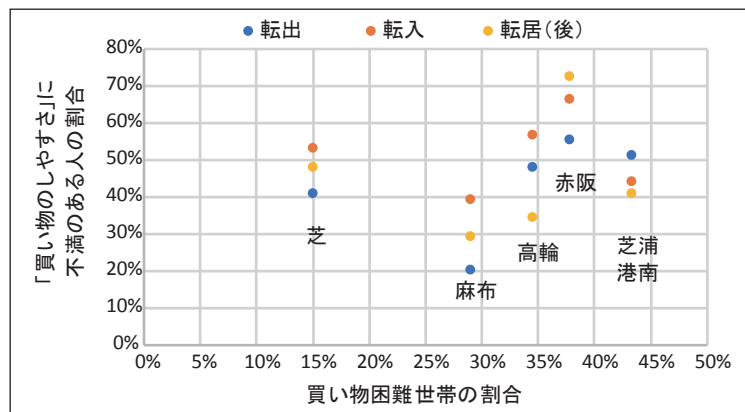
図表5-9 地区別の居住世帯に占める買い物困難世帯の割合

地区名	買い物困難世帯割合
芝地区	15%
麻布地区	29%
赤坂地区	38%
高輪地区	34%
芝浦港南地区	43%

出典：経済産業省「平成26年商業統計」より作成

転出入調査の問9において港区の「買い物のしやすさ」に不満があった人の割合と買い物困難世帯割合を比較する。具体的には、いずれも港区が評価の対象である、転出者の引越し前住所への不満、転入者の引越し後住所への不満、転居者の引越し後住所への不満の3項目における「買い物のしやすさに不

図表5-10 地区別買い物困難世帯割合と買い物に不満を抱いている世帯の割合



(再掲) 図表3-2-2-9 引越し前住所別引越し前の不満 (転出)

芝地区			麻布地区			赤坂地区			高輪地区			芝浦港南地区		
順位	引越し後の不満	割合	順位	引越し後の不満	割合	順位	引越し後の不満	割合	順位	引越し後の不満	割合	順位	引越し後の不満	割合
1	住宅価格・家賃	51.3%	1	住宅価格・家賃	54.5%	1	買い物のしやすさ	55.6%	1	住宅価格・家賃	59.3%	1	住宅価格・家賃	54.5%
2	買い物のしやすさ	41.0%	2	治安	25.0%	2	住宅価格・家賃	29.6%	2	買い物のしやすさ	48.1%	2	買い物のしやすさ	51.5%
3	飲食店の充実度	17.9%	3	買い物のしやすさ	20.5%	3	自然の豊かさ	25.5%	3	飲食店の充実度	35.2%	3	飲食店の充実度	27.3%
4	治安	12.8%	4	まちなイメーজ	15.9%	4	治安	22.2%	4	自然の豊かさ	16.7%	4	自然の豊かさ	18.2%
4	自然の豊かさ	12.8%	4	自然の豊かさ	15.9%	5	子育て支援の充実	11.1%	5	公共交通機関の利便性	13.0%	5	公共交通機関の利便性	12.1%
						5	医療機関の充実	11.1%				5	防災面における安全性	12.1%
												5	教育環境の充実 (幼稚園・小学校)	12.1%

(再掲) 図表3-2-2-17 引越し後住所別引越し後の不満 (転入)

芝地区			麻布地区			赤坂地区			高輪地区			芝浦港南地区		
順位	引越し後の不満	割合	順位	引越し後の不満	割合	順位	引越し後の不満	割合	順位	引越し後の不満	割合	順位	引越し後の不満	割合
1	住宅価格・家賃	53.3%	1	住宅価格・家賃	42.4%	1	買い物のしやすさ	66.7%	1	買い物のしやすさ	56.8%	1	住宅価格・家賃	44.2%
1	買い物のしやすさ	53.3%	2	買い物のしやすさ	39.4%	2	住宅価格・家賃	55.6%	2	住宅価格・家賃	40.5%	1	買い物のしやすさ	44.2%
3	自然の豊かさ	20.0%	3	治安	24.2%	3	治安	22.2%	3	飲食店の充実度	37.8%	3	飲食店の充実度	25.6%
4	飲食店の充実度	13.3%	4	公共交通機関の利便性	12.1%	4	防災面における安全性	11.1%	4	環境に配慮したまちづくり	8.1%	4	自然の豊かさ	16.3%
4	公園の充実	13.3%	4	景観・街並み	12.1%	4	まちなイメージ	11.1%	4	スポーツ施設の充実	8.1%	5	公共交通機関の利便性	11.6%
4	医療機関の充実	13.3%	4	飲食店の充実度	12.1%	4	景観・街並み	11.1%						
						4	国際性の豊かさ	11.1%						

(再掲) 図表3-2-2-25 引越し後住所別引越し後の不満 (転居)

芝地区			麻布地区			赤坂地区			高輪地区			芝浦港南地区		
順位	引越し後の不満	割合	順位	引越し後の不満	割合	順位	引越し後の不満	割合	順位	引越し後の不満	割合	順位	引越し後の不満	割合
1	買い物のしやすさ	48.3%	1	買い物のしやすさ	29.6%	1	買い物のしやすさ	72.7%	1	飲食店の充実度	37.2%	1	買い物のしやすさ	41.2%
2	飲食店の充実度	31.0%	2	住宅価格・家賃	25.9%	2	まちなイメージ	27.3%	2	買い物のしやすさ	34.9%	2	飲食店の充実度	26.5%
3	住宅価格・家賃	27.6%	3	公共交通機関の利便性	18.5%	2	飲食店の充実度	27.3%	3	住宅価格・家賃	27.9%	3	住宅価格・家賃	17.6%
4	防災面における安全性	13.8%	3	治安	18.5%	4	公共交通機関の利便性	18.2%	4	道路交通の利便性	20.9%	3	自然の豊かさ	17.6%
5	治安	10.3%	3	飲食店の充実度	18.5%	4	景観・街並み	18.2%	5	公共交通機関の利便性	18.6%	5	公共交通機関の利便性	11.8%
			3	スポーツ施設の充実	18.5%				5	防災面における安全性		5	防災面における安全性	11.8%
									5	医療機関の充実		5	医療機関の充実	11.8%

満がある世帯」の割合と、商業統計に基づく「買い物困難者世帯」の割合を用いた散布図を図表5-10にまとめた。麻布、高輪、赤坂、芝浦港南の4地区だけ見ると「買い物困難世帯」と「買い物のしやすさに不満がある世帯」に正の相関関係があると考えられる。このため、これらの地域については、実態としても買い物困難な環境があり、これが調査回答者の不満につながっていると考えられる。一方、芝地区だけは異なる傾向を示しており、ビジネス街の占める割合が他地区と比べて高いため、飲食料品小売業の店舗が多いものの居住者のニーズとマッチしておらず、飲食料品小売業の店舗数の多さが住民の満足につながっていない可能性がある。

4 他自治体類似調査との比較

他自治体においても、引越しのきっかけは「仕事関係」、「家族関係」、「住宅関係」が上位であり、引越しの決め手は「交通利便性」、「住宅価格・家賃」が上位である点は本調査結果と同じ傾向を示している。また、「親や親族が近くにいる」が比較的上位を占めている点も同様である。一方、転入者が「まちのイメージ」、「治安」、「街並み・景観」を引越しの決めての上位に回答していることが他自治体と比較した港区の特徴であるといえる。また、住んでいる地域への不満点では「住宅価格・家賃」は他自治体でも上位に挙げられている。

都心周辺に位置する自治体のうち、北区、川崎市、横浜市が実施した類似調査と本調査との比較を行う。図表5-11は上記3自治体と今回の港区の調査の概要を比較したものであり、北区は20歳から49歳、横浜市は20歳から44歳、川崎市は18歳未満の子どもが同居する世帯に対象者を絞った調査になっている点に留意する必要がある。また、ここでは「引越しのきっかけ」、「引越し先を選んだ決め手」、「調査自治体に対する不満点」の3種類の質問の結果について比較を行うが、選択肢の種類や該当項目をいくつまで選択するかなど調査ごとに差異があり、条件が異なるため、あくまで参考程度の比較に過ぎないことにも留意が必要である。

図表5-11 他自治体調査と港区調査の概要比較

	対象	転出入	実施時期	発送	回収	引越しのきっかけ	引越し先を選んだ決め手	調査自治体に対する不満点
北区	20～49歳	転出 転入	H29.12	4,000人	923人	該当するものすべて選択	該当するものすべて選択	該当するものすべて選択
川崎市	子育て世帯 (18歳未満の 子供がいる)	転出	H29.9	1,500人	424人	2つまで選択	4つまで選択	該当するものすべて選択
横浜市	20～44歳	転出	H29.10	5,000人	1,523人	1つ選択	1つ選択	該当質問なし
港区	18歳以上	転出 転入 転居	R元.8	3,500人	680人	該当するものすべて選択	5つまで選択	5つまで選択

出典：北区「北区転出入者調査・分析報告書」
川崎市「市外転出者に対する住まいのアンケート調査 集計結果」
横浜市「横浜市外転出者 意識調査結果」

(1) 引越しのきっかけの比較

図表5-12は引越しのきっかけの上位5位までを比較したものである。順位こそ多少前後するものの、どの自治体においても転出・転入のいずれにおいても「仕事上の都合（就職・転勤など）」、「家庭の都

合（結婚・出産など）、「住宅の都合（購入・借り換えなど）」が上位を占めている。これに対し、港区の転出・転入いずれにおいても転勤、結婚・出産、住居の賃貸契約の更新などが上位であり、引越しのきっかけについては周辺自治体とほとんど差異がない。

図表5-12 引越しのきっかけの比較

順位	転出				転入	
	北区	川崎市	横浜市	港区	北区	港区
1	家庭の都合	転職・転勤など	就職・転勤など	結婚	仕事上の都合	転職
2	仕事上の都合	住宅の購入	結婚	住宅の購入	住宅の都合	転勤
3	住宅の都合	子の誕生・成長	住宅の購入	賃貸契約の更新	家庭の都合	賃貸契約の更新
4	生活環境の向上のため	子の入園・入学	子育てや子供の教育	転職	生活環境の向上のため	結婚
5	出産	住環境に不満があった	親や親族との近居・同居	出産	出産	就職

出典：北区「北区転出入者調査・分析報告書」
川崎市「市外転出者に対する住まいのアンケート調査 集計結果」
横浜市「横浜市外転出者 意識調査結果」

（２） 引越し先を選んだ決め手の比較

図表5-13は引越し先を選んだ決め手の上位5位までを比較したものである。港区の結果と同様に「通勤・通学における交通利便性」と「住宅価格・家賃」については、どの自治体においても共通して決め手の上位項目となっている。また、転出者の回答の中で、「親や親族が近くににいる」に関しては上記3自治体においては上位5位に入っている。港区からの転出者においても上位5位からは外れたものの6位に位置しており、無視できない要因の一つとなっている。加えて、港区への転入者は「まちのイメージ」、「治安」、「景観・街並み」が決め手の上位となっている点が他自治体の調査結果とは大きく異なっている。

図表5-13 引越し先を選んだ決め手の比較

順位	転出				転入	
	北区	川崎市	横浜市	港区	北区	港区
1	通勤・通学への交通の便が良い	より広い家	交通の便	住宅価格・家賃	通勤・通学への交通の便が良い	勤務先との近さ
2	住宅価格・家賃	交通利便性	住宅価格・家賃	勤務先との近さ	住宅価格・家賃	公共交通機関の利便性
3	住宅の条件	職場へのアクセス	親や子、親族などが近くににいる	買い物のしやすさ	都心へのアクセス	まちのイメージ
4	配偶者・親族・知人が近くににいる	自然環境	日頃の買い物などが便利	公共交通機関の利便性	最寄り駅へのアクセス	治安
5	都心へのアクセス	親との同居・近居	やむを得ない事情	自然の豊かさ	住宅の条件	景観・街並み

出典：北区「北区転出入者調査・分析報告書」
川崎市「市外転出者に対する住まいのアンケート調査 集計結果」
横浜市「横浜市外転出者 意識調査結果」

（３） 地域に対する不満点の比較

図表5-14は調査自治体に対する不満点を比較したものである。横浜市の調査では該当する質問がなかったため比較から除いている。また、川崎市は自治体の施策が十分か否かに対する不満点であるため選択肢の範囲が北区・港区のものと比べてやや限定的であることに留意が必要である。そのため、「住宅価格・家賃に対する不満」が北区・港区共通で上位項目になっているが、川崎市の調査ではそもそも選択肢に入っていない。それぞれの自治体で特徴的な点を挙げると、北区においては「治安」や「まち

のイメージ」、川崎市においては「子育て支援」や「子育て環境整備」、港区においては「買い物のしやすさ」、「自然の豊かさ」などがある。

図表5-14 調査自治体に対する不満点

順位	転出			転入		
	北区	川崎市	横浜市	港区	北区	港区
1	治安が悪い	保育など子育て支援施策		住宅価格・家賃	治安が悪い	買い物のしやすさ
2	住宅価格・家賃	公園など子どもが遊べる環境		買い物のしやすさ	買い物などが不便	住宅価格・家賃
3	知り合いや友人がいない	世帯人数に見合った広さの住宅の供給		飲食店の充実度	知り合いや友人がいない	飲食店の充実度
4	町のイメージが悪い	子育てや高齢者に配慮された設備やサービスのある住宅の供給		自然の豊かさ	町のイメージが悪い	自然の豊かさ
5	親や子供の家に遠い	防犯対策		治安	住宅価格・家賃	治安

出典：北区「北区転出入者調査・分析報告書」
川崎市「市外転出者に対する住まいのアンケート調査 集計結果」

VI 調査結果から見た港区の政策課題

ここでは、本調査の結果から得られた港区の転出入及び区内転居の実態と問題点の分析結果から、今後の区政において留意すべき政策課題と対応の方向性について考察する。

1 調査結果の留意すべきポイント

(1) 転出入者、転居者の実態と特性

①基本属性（年齢、世帯の状況）の面から見たポイント

転出入とも若く世帯の人数の少ない世帯が多く、転出においては結婚、出産や住宅購入がきっかけで転出しているケースが多い。

転出では25～39歳、転入では25～39歳の割合が特に高い。これに対し区内転居では30～44歳の割合が高く、転出入と比較してやや高い年齢層が多くなっている。世帯の状況では転出入では単身、2人世帯が約7割を占めており、区内転居でも6割を占めている。

引越しのきっかけとして最も重要だったものは、転出では結婚、住宅の購入、転入では転勤、転職、就職などが多い。実態としても、転出においては、引越し前後で単身世帯の割合が低下し2人世帯の割合が上昇、配偶者同居なし世帯の割合が低下し配偶者同居あり世帯の割合が上昇、0～6歳児同居なし世帯の割合が低下し0～6歳児同居あり世帯の割合が上昇している。また、転出後に住宅の所有形態において民間賃貸の割合が低下し、持ち家の割合が高まっている。

②引越し前後の居住地から見たポイント

転出先は特別区が多くうち都心区が3割を占める一方、転入元は東京圏外や外国が比較的多い。

転出先は東京都内（23区内）が約6割を占め、さらにいわゆる都心5区（港区、中央区、千代田区、渋谷区、新宿区）のうち港区以外の4区が約2割を占めている。

転入元も東京都内（23区内）が多いが約4割にとどまる一方、転出先と比較して近隣3県（神奈川・千葉・埼玉）以外の都外の割合が高く、国外が12.2%を占めているのが特徴として挙げられる。

③居住期間から見たポイント

転出、転入、区内転居とも区内居住期間5年未満が5割以上となっている。

転出、区内転居は引越し前住所での居住期間5年未満が5割強、転入は7割弱を占めている。港区世論調査による区内在住者全体の区内居住期間5年未満の割合は24.1%（平成29年度調査結果）であり、転出者、区内転居者は区内在住者全体と比較して短期居住者の割合が高い。

居住期間2年未満の転出は賃貸契約更新も主要なきっかけとなっている。

居住期間に関わらず結婚や住宅購入がきっかけとなっている割合が高いが、転出者のうち区内居住期間が2年未満の者の転出のきっかけは住まいの賃貸契約の更新が相対的に高く、一度目の賃貸契約更新が主要な転出のきっかけの一つとなっていると考えられる。

（２） 転出入者、転居者の居住地への評価と重視している地域条件

①転出者

港区の住宅コストの高さ、買い物環境への不満が大きい。

転出者が港区に不満に感じていた点は住宅価格・家賃の高さ、買い物の不便さの割合が高い。転出先の選択においてもこれらの点が重視され、転出先に対する不満点ではこれらの割合が低下しているなど、住宅価格・家賃の高さ、買い物の不便さが港区からの転出の大きな要因となっていると考えられる。

一方、転出先に対し不満が高い点は公共交通利便性と勤務先の近さであり、これらは港区に不満に感じていた割合が低い点であることから、これらの利点と引き換えに住宅コストと買い物利便を得る選択をしていることがわかる。

なお、都心５区のうち港区以外の４区に転出した者は、転出先の決め手となった点で住宅コストの重視度が全体平均と比較して大幅に低く、勤務先への近さと公共交通利便性の割合が高くなっているなど、転出者全体と都心５区への転出者は傾向が明確に異なっている。

港区に対し若年層で住宅コストの不満が大きく、子育て世帯の子育て環境の不満は小さい。

転出者のうち若い世代は港区の住宅コストの高さに対する不満が大きい。引越し前及び引越し後に配偶者のいる者や０～６歳の子どものいる者はもこの点は同様だが、転出先の選択にあたっては子育て支援、教育など子育てに関連する生活環境を重視する割合が相対的に高い。一方、港区に対してこうした環境に関する不満は小さく、重視はしているがこれらの点に関する不満が転出の要因になっているわけではない。

②転入者

通勤環境、まちのイメージを評価して港区を選択している。

転入者は従前居住地の公共交通利便性と勤務先との近さに不満を持ち、これらの点を重視して港区に転入しており、転入後実際に港区で生活してみて、これらの点に対する不満は大幅に低下している。また、転入時に重視した点としてこれらについてまちのイメージの割合も高くなっている。一方、住宅価格・家賃の高さ、買い物の不便さに対する不満が顕著に見られる。

若年層は通勤環境を、子育て世帯は子育て環境を重視している。

転入者のうち若い世代は勤務先との近さと公共交通利便性を重視して港区を選択しており、配偶者のいる者や０～６歳の子どものいる者も同様だが、これらの属性ではそれに加えて子育て環境を重視する割合が相対的に高い。また、転入後実際に港区で生活してみて、これらの環境に対する不満は低い水準にとどまっている。

③転居者

通勤環境と住宅コストを重視して転居先を選択し、転居先では買い物のしやすさと飲食店に不満が生じている。

転居者は勤務先との近さと公共交通利便性、住宅価格・家賃の高さを重視して区内転居先を選択している。転居先においては、重視している点に対する不満は大幅に低下しているが、住宅価格・家賃の高さへの不満は相対的に高い水準にある。一方、買い物の不便さに対する不満が顕著に見られる。

若年層は通勤環境を、子育て世帯は子育て環境を重視して転居先を選択している。

転居者のうち若い世代は勤務先との近さと公共交通利便性を重視して転居先を選択しており、配偶者のいる者や0～6歳の子どものいる者も同様だが、これらの属性ではそれに加えて子育て環境を重視する割合が相対的に高い。また、転居先で実際に生活してみて、これらの環境に対する不満は低い水準にとどまっている。

(3) 地区別の傾向

転出者の居住地区への評価、転居者の転居先への評価において、住宅コストは赤坂地区、買い物のしやすさは麻布地区の評価が相対的に高い。

港区への不満で特に重要な点である住宅コストと買い物の不便さについて、転出者の転出前居住地区に対する評価における住宅価格・家賃への不満では、赤坂地区が他地区と比較して顕著に低く、買い物のしやすさへの不満については、麻布地区が他地区と比較して顕著に低い。また、転居者の転居先に対する評価においてもおおむね同様の傾向にあるが、買い物のしやすさは転出者の評価と比較すると他地区との差異は小さくなっている。

2 調査結果を踏まえた対応を検討すべき政策課題

(1) 転出の抑制に向けた課題

①転出抑制に向けた若い世代、子育て世帯のニーズに対応した区内での住み替え支援

転出者は、若い世代と子育て世帯が結婚や出産、住宅購入などのライフイベントをきっかけとして転出するケースが多く、転出者は港区の「住宅価格・家賃」への不満が最も多く、転出先選択においても「住宅価格・家賃」が最も重視されている。

また、転出者は居住期間が短い者が多く、賃貸契約更新をきっかけに転出している者が少なくないといと推察される。

こうした状況に対し、「住宅価格・家賃」について、区の対応により解決することは困難であるが、結婚や出産に伴う住み替えにおいて、賃貸契約更新が転出の契機となっていることを踏まえ、情報提供など、公益社団法人東京都宅地建物取引業協会港区支部及び公益社団法人全日本不動産協会東京都本部港支部などと連携した区内での住み替え支援を検討することが想定される。

特に、転出者のうち約2割は都心区に転出しており、港区と「住宅価格・家賃」や通勤環境に大きな差がないこれらの地域に転出した人々は、適切な住み替え先の情報を提供するなど、区内での住み替えを支援することで転居に転換することができる可能性がある。

②日常の買い物需要に対応する小売機能の強化

転出者の港区に対する不満で買い物の利便性への不満が大きく、転出の主要な要因の一つになっているほか、転入者、転居者も現在生活している港区の環境の中で買い物の利便性に大きな不満を感じており、将来の転出を誘発する要因となる懸念がある。

立地コストの高さを背景とした区内の事業環境の厳しさから、利幅の小さい食料品などの日常の買い物需要に対応する小売業の立地促進は容易ではないが、出店を希望する事業者への情報、ノウハウ面での支援、地域団体やソーシャルビジネスとの連携による買い物困難者の支援など、小売機能の強化に向けたきめ細かい取り組みの検討が必要と考えられる。

（２） 転入の促進に向けた課題

①通勤環境、まちのイメージ、子育て環境など優れた生活環境のアピール

転入者は港区の通勤環境の良さ、まちのイメージの良さを決め手として港区を選択しており、こうした点に関する転入後の評価も高い。このため、こうした優位性をこれまで以上にアピールすることが有効と考えられる。

また、転入者においても転居者においても、子育て世帯は子育て環境を決め手として港区を選択しており、一方、転出者、転居者による港区の子育て環境への評価は低くないことから、これから子育て世帯となる若い世代も含め、港区の優れた子育て環境を重点的にアピールすることも有効と考えられる。

これらの点を、既に取り組んでいるシティプロモーションを含む広報等の中で留意することが想定される。

（３） 地区別の特性に応じた課題と可能性への対応

①地区の実態とイメージを踏まえた課題への対応

既に述べた通り、転出抑制、転入促進の両側面において、「住宅価格・家賃」と「買い物のしやすさ」が大きな不満点となっているが、「住宅価格・家賃」では赤坂地区への不満が最も低く、「買い物のしやすさ」では麻布地区への不満が最も低いなど地区別に差異がある。

このため、まずこうした実態について詳細を別途把握、分析した上で、環境整備やイメージの改善など地区の状況に応じた対応を検討する必要がある。

港区における引越し（転出・転入・転居）に関するアンケート調査票

問1 引越し当時のあなたの年齢と性別をお答えください。

問2 現在のあなたのご職業は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 男
2. 女

歳

1. 営業主・家族従業
2. 法人の経営者
3. 会社員・団体職員・公務員

4. アルバイト・パートタイマー
5. 家事専業
6. 学生

7. 無職
8. その他

()

問3 引越し当時の同居家族の状況について質問させていただきます。家族構成の変化を調査するために引越し前と引越し後のあなたの同居家族の状況についてそれぞれお答えください。

(1) [引越し前]

(2) [引越し後]

	あなたとの関係	年齢	性別
1人目	1. 配偶者 2. 子ども 3. 親 4. その他親族 5. その他同居人	歳	1. 男 2. 女
2人目	1. 配偶者 2. 子ども 3. 親 4. その他親族 5. その他同居人	歳	1. 男 2. 女
3人目	1. 配偶者 2. 子ども 3. 親 4. その他親族 5. その他同居人	歳	1. 男 2. 女
4人目	1. 配偶者 2. 子ども 3. 親 4. その他親族 5. その他同居人	歳	1. 男 2. 女
5人目	1. 配偶者 2. 子ども 3. 親 4. その他親族 5. その他同居人	歳	1. 男 2. 女
6人目	1. 配偶者 2. 子ども 3. 親 4. その他親族 5. その他同居人	歳	1. 男 2. 女

港区における引越し（転出・転入・転居）に関するアンケート調査

日頃から、港区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この調査は、区民の皆さんが転出・転入・転居するきっかけ等状況をお伺いすることにより、港区をより魅力的で暮らしやすいまちにすることを目的として実施するものです。

調査の実施にあたり、平成30年4月から平成31年3月までの間に、港区から転出された方、港区に転入された方、港区内で転居された方の中から3,500人を無作為に選び、調査票をお送りさせていただきました。

調査結果は、港区のホームページなどで公表することがありますが、調査は無記名で行い、お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年7月
港区長 武井雅昭

【ご記入にあたってのお願い】

- 調査のご回答は、封筒の宛名のご本人がご回答くださいますようお願いいたします。なお、宛名の方が直接回答するのが難しく、ご同居の方が代理回答される場合は、宛名の方の立場に立ってご回答ください。
- 昨年度複数回お引越しされた方は、最後にお引越しされた時の状況をお答えください。
- 濃い鉛筆か、黒または青のボールペン・万年筆をお使いください。
- ご回答は、おわかりになる範囲で結構ですので、ご協力をお願いいたします。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて
令和元年7月26日（金）までにご投函ください。
（切手を貼らずにお出しください。お名前を記入する必要はありません。）

※この調査についてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。
【問合せ先】 港区政策創造研究所（港区 企画経営部 企画課 政策研究担当）
電話：03-3578-2567（直通）

港区における引越し（転出・転入・転居）に関するアンケート調査票

問4 引越し前の住所と引越し後の住所をお答えください。

(1) [引越し前]

港区外の方	市区
	町村
都道府県	市区
	町村
港区内の方	1. 芝地区
	2. 麻布地区
	3. 赤坂地区
	4. 高輪地区
	5. 芝浦・港南地区
国外の方	

(2) [引越し後]

港区外の方	市区
	町村
都道府県	市区
	町村
港区内の方	1. 芝地区
	2. 麻布地区
	3. 赤坂地区
	4. 高輪地区
	5. 芝浦・港南地区

問5 引越しの前後の住宅の所有形態についてそれぞれあてはまるものを以下の選択肢から選んで番号でお答えください。

(1) [引越し前] (2) [引越し後]

1. 持家 (一戸建) 6. UR (旧公団)・公社の賃貸住宅
2. 持家 (マンション) 7. 社宅・公務員宿舎
3. 借家 (一戸建) 8. 寮・寄宿舎・住み込み・間借り
4. 民間の賃貸マンション・アパート 9. その他 ()
5. 都営住宅・区営住宅・区立住宅・特定公共賃貸住宅

問6 引越し前の住所にどれくらいの間連続して住んでいましたか。

問6 引越し前の住所にどれくらい期間連続して住んでいましたか。

年	ヶ月

問7 何月に引越しましたか。

月に引越した

問8(1) 以下の選択肢のうち、引越しのきっかけとして重要だったものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも可)

1. 就職
2. 転勤
3. 転職
4. 退職
5. 進学・卒業
6. 住宅の購入
7. 結婚
8. 出産
9. 家族や親族から独立するため
10. 親や親族の介護
11. 防災上の理由
12. 住まいの賃貸契約の更新が近かった
13. 家計状況の好転
14. 家計状況の悪化
15. 通院
16. 健康上の理由
17. その他（具体的に：

問8(2) 引越しのきつかけを(1)で複数お答えいただいた方に質問します。引越しのきつかけのうち最も重要なものを1つ選んで番号でお答えください。

1111

港区における引越し（転出・転入・転居）に関するアンケート調査票

問9 (1)～(4)の4つの質問に対し、それぞれあてはまるものを以下の選択肢から選んで、番号でお答えください。(最大5つまで・順不同でも可)

- (1) 引越し前のお住まいの地域で不満だった点・・・
- (2) 引越し先を選んだ際決め手になった点・・・
- (3) 実際に引越した後不満に感じている点・・・
- (4) あなたがふだん重要視している点・・・

1. 住宅価格・家賃
2. 公共交通機関の利便性
3. 道路交通の利便性
4. 防災面における安全性
5. 治安
6. まちのイメージ
7. 景観・街並み
8. 自然の豊かさ
9. 飲食店の充実度
10. 買い物のしやすさ
11. 環境に配慮したまちづくり
12. 地域コミュニティの活動
13. 友人・知人・親族が近くにいる
14. 勤務先との近さ
15. 子育て支援の充実
16. 教育環境の充実 (幼稚園・小学校)
17. 教育環境の充実 (中学校)
18. 教育環境の充実 (高等学校)
19. 生涯学習の機会の充実
20. 公園の充実
21. スポーツ施設の充実
22. 博物館・美術館など文化施設の充実
23. 医療機関の充実
24. 高齢者・障害者向けの福祉環境の充実
25. 国際性の豊かさ
26. その他 ()

問10【自由回答】最後に港区政について何かご意見等ございましたらご自由にお書きください。

ご回答ありがとうございます。同封の返信用封筒にてご返送ください。

港区における引越し（転入・転出・転居）に関するアンケート調査

日頃から、港区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
この調査は、区民の皆さんの転入・転出・転居するきっかけなど状況をお伺いすることにより、港区をより魅力的で暮らしやすいまちにすることを目的として実施するものです。

調査の実施にあたり、2018年4月から2019年3月までの間に、港区から転出された方、港区に転入された方、港区内で転居された方の中から3,500人を無作為に選び、調査結果をお送りさせていただいております。

調査結果は、港区のホームページなどで公表することがありますが、調査は無記名で行い、お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、個々のご回答やプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2019年7月
港区長 武井雅昭

【ご記入にあたってのお願い】

・ 調査のご回答は、封筒の宛名のご本人がご回答くださいますようお願いいたします。
なお、宛名の方が直接回答するのが難しく、ご同居の方が代わりに回答される場合は、宛名の方の立場にたってご回答ください。

・ 昨年度、何度かお引越した方は、最後にお引越した時の状況をお答えください。

・ 渡辺鉛筆が、黒または青のボールペン・万年筆をお使いください。

・ ご回答は、おわかりになる範囲で結構ですので、ご協力を願います。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて

2019年7月26日（金）までにお出しください。

（切手を貼らずにお出しください。お名前を記入する必要はありません。）

※この調査についてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。
【問合せ先】 港区政策創造研究所（港区 企画経営部 企画課 政策研究担当）
電話：03-3578-2567（直通）

港区における引越し（転入・転出・転居）に関するアンケート調査票

問1 引越し当時のあなたの年齢と性別をお答えください。

問2 現在のあなたの職業は次のどれに当てはまりますか。（○は1つ）

1. 自営業主・家族従業員 4. アルバイト・パートタイマー 7. 無職

2. 法人の経営者 5. 家事専業

3. 会社員・団体職員・公務員 6. 学生 8. その他

問3 引越し当時の同居家族の状況について質問させていただきます。家族構成の変化を調査するために引越し前と引越し後のあなたの同居家族の状況についてそれぞれお答えください。

(1) [引越し前]

あなたとの関係

年齢

性別

1. 配偶者

2. 子ども

3. 親

4. その他親族

5. その他同居人

1. 配偶者

2. 子ども

3. 親

4. その他親族

5. その他同居人

1. 配偶者

2. 子ども

3. 親

4. その他親族

5. その他同居人

1. 配偶者

2. 子ども

3. 親

4. その他親族

5. その他同居人

1. 配偶者

2. 子ども

3. 親

4. その他親族

5. その他同居人

1. 配偶者

2. 子ども

3. 親

4. その他親族

5. その他同居人

(2) [引越し後]

あなたとの関係

年齢

性別

1. 配偶者

2. 子ども

3. 親

4. その他親族

5. その他同居人

1. 配偶者

2. 子ども

3. 親

4. その他親族

5. その他同居人

1. 配偶者

2. 子ども

3. 親

4. その他親族

5. その他同居人

1. 配偶者

2. 子ども

3. 親

4. その他親族

5. その他同居人

1. 配偶者

2. 子ども

3. 親

4. その他親族

5. その他同居人

1. 配偶者

2. 子ども

3. 親

4. その他親族

5. その他同居人

港区における引越し（転入・転出・転居）に関するアンケート調査報告書

163

港区における引越し（転入・転出・転居）に関するアンケート調査票

問4 引越し前の住所と引越し後の住所をお答えください。

(1) [引越し前]

港区外の方	市 区	都 道 府 県	市 区 町 村
1. 芝地区	2. 麻布地区		
3. 赤坂地区	4. 高輪地区		
5. 芝浦港南地区			
国 外	国 名		

(2) [引越し後]

港区外の方	市 区	都 道 府 県	市 区 町 村
1. 芝地区	2. 麻布地区		
3. 赤坂地区	4. 高輪地区		
5. 芝浦港南地区			

問5 引越しの前後の住宅の所有形態についてそれぞれあてはまるものを以下の選択肢から選んで番号をお答えください。

(1) [引越し前]

(2) [引越し後]

1. 持家（一戸建）	6. UR（旧公団）・公社の賃貸住宅
2. 持家（マンション）	7. 社宅・公務員宿舎
3. 借家（一戸建）	8. 寮・寄宿舎・住み込み・間借り
4. 民間の賃貸マンション・アパート	9. その他（ ）
5. 都営住宅・区営住宅・区立住宅・特定公共賃貸住宅	

問6 引越し前の住所にどれくらいの期間連続して住んでいましたか。

年	月
月に引越しました	

問8 (1) 以下の選択肢のうち、引越しのきっかけとして重要だったものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも可）

1. 就職	10. 親や親族の介護
2. 転勤	11. 防災上の理由
3. 転職	12. 住まいの賃貸契約の更新が近かった
4. 退職	13. 家計状況の好転
5. 進学・卒業	14. 家計状況の悪化
6. 住宅の購入	15. 通院
7. 結婚	16. 健康上の理由
8. 出産	17. その他（具体的に： ）
9. 家族や親族から独立するため	

問8 (2) 引越しのきっかけを（1）で複数お答えいただいた方に質問します。引越しのきっかけのうち最も重要だったものを1つ選んで番号でお答えください。

--

港区における引越し（転入・転出・転居）に関するアンケート調査票

問9 (1)～(4)の4つの質問に対し、それぞれあてはまるものを以下の選択肢から選んで、番号をお答えください。（最大5つまで・順不同でも可）

(1) 引越し前のお住まいの地域で不満だった点・・・	
(2) 引越し先を選んだ際決め手になった点・・・	
(3) 実際に引越した後不満に感じている点・・・	
(4) あなたがだん重要視している点・・・	

1. 住宅価格・家賃	14. 勤務先との近さ
2. 公共交通機関の利便性	15. 子育て支援の充実
3. 道路交通の利便性	16. 教育環境の充実（幼稚園・小学校）
4. 防災面における安全性	17. 教育環境の充実（中学校）
5. 治安	18. 教育環境の充実（高等学校）
6. まちのイメージ	19. 生涯学習の機会の充実
7. 景観・街並み	20. 公園の充実
8. 自然の豊かさ	21. スポーツ施設の充実
9. 飲食店の充実度	22. 博物館・美術館など文化施設の充実
10. 買い物のしやすさ	23. 医療機関の充実
11. 環境に配慮したまちづくり	24. 高齢者・障害者向けの福祉環境の充実
12. 地域コミュニティの活動	25. 国際性の豊かさ
13. 友人・知人・親族が近くにいる	26. その他（ ）

問10 【自由回答】最後に港区政について何かご意見等ございましたらご自由にお書きください。

--

ご回答ありがとうございます。同封の返信用封筒にてご返送ください。

1 依頼用（角形2号）

港区役所からのアンケートのお願い

このアンケートは港区の政策を検討するための調査です。ぜひ、ご回答ください。

ご回答いただいたアンケートは、同封されている封筒（切手不要）にて令和元年7月26日（金）までにご投函ください。

 **港 区 MINATO CITY**

港区政策創造研究所（港区企画経営部企画課）

〒105-8511
東京都港区芝公園一丁目5番25号

☎ 03(3578)2111（代表） 内線2567

<http://www.city.minato.tokyo.jp>

2 返信用（長形3号）



料金受取人郵便局
芝居承認
3221
有効期限
2019年8月
30日まで
（切手不要）

1058790

141

東京都港区芝公園一丁目5番25号

港区役所 企画課
港区政策創造研究所
行

「港区における引越し（転出・転入・転居）に関するアンケート調査」へのご協力のお礼

日頃から、港区政に対し、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、7月上旬に、「港区における引越し（転出・転入・転居）に関するアンケート調査」の調査票を送付させていただきました。

ご回答いただきました方には、大変お忙しい中、ご協力をいただき、ありがとうございます。

皆様の貴重なご意見は、今後の港区の施策等にできる限り生かしてまいります。

※アンケート調査票を、まだお手元にお持ちの方におかれましては、大変恐縮ですが、記入可能な箇所だけでもご記入いただき、今からでもご回答・ご返送にご協力いただければ幸いです（投函期限は、8月2日まで延長させていただきます。）。何とぞよろしくお願い申し上げます。

令和元年7月
港区長 武井雅昭

【お問合せ先】

港区政策創造研究所（港区企画経営部企画課）
〒105-8511 港区芝公園1-5-25
電話：03-3578-2567（直通）

「港区における引越し（転出・転入・転居）に関するアンケート調査」へのご協力のお礼

日頃から、港区政に対し、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、7月上旬に、「港区における引越し（転出・転入・転居）に関するアンケート調査」の調査票を送付させていただきました。

ご回答いただきました方には、大変お忙しい中、ご協力をいただき、ありがとうございます。皆様の貴重なご意見は、今後の港区の施策等にできる限り生かしてまいります。

※アンケート調査票を、まだお手元にお持ちの方におかれましては、大変恐縮ですが、記入可能な箇所だけでもご記入いただき、今からでもご回答・ご返送にご協力いただければ幸いです（投函期限は、8月2日まで延長させていただきます。）。何とぞよろしくお願い申し上げます。

2019年7月
港区長 武井雅昭

【お問合せ先】

港区政策創造研究所（港区企画経営部企画課）
〒105-8511 港区芝公園1-5-25
電話：03-3578-2567（直通）

1 設置目的

港区政策創造研究所は、各部門の個別情報の収集・分析等を踏まえ、横断的に課題を捉え、総合的な政策研究を行い、各支援部・総合支所を支援することを目的とします。

2 設置日等

(1) 設置日

平成23年2月1日

(2) 設置場所

港区役所（本庁舎）4階

(3) 所長

大塚敬（三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱政策研究事業本部自治体経営改革室長）（平成31年4月1日着任）

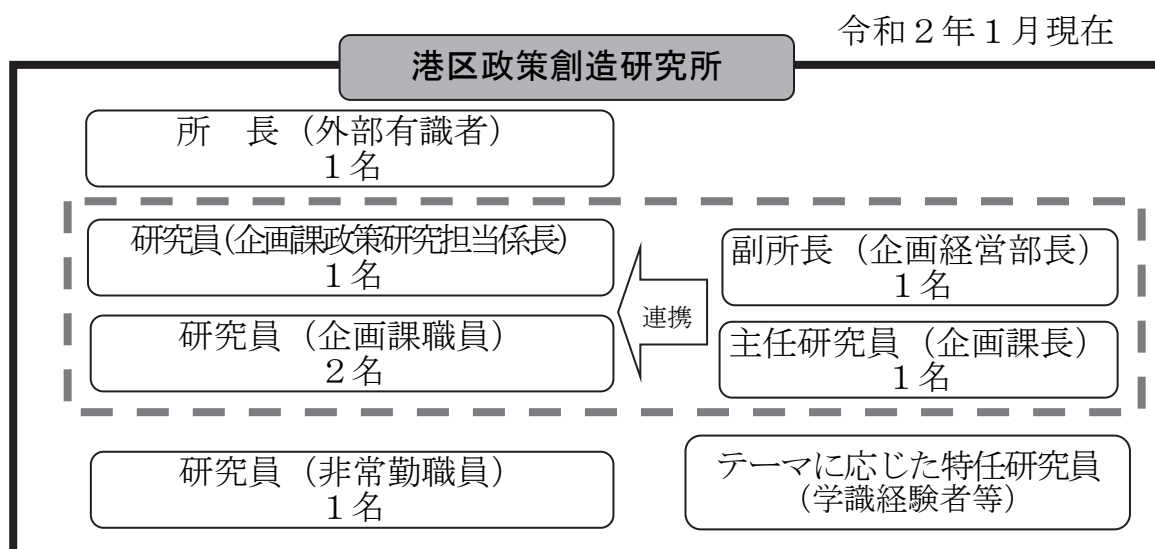
3 機能

研究所は、次の4つの機能を備えます。

機 能	狙 い
情報活用機能	区内で何が起きているのかを的確に把握
分析・予測機能	それが区民の生活に与える影響を予測
政策研究・形成機能	顕在化する課題を先取りし、迅速に対応
人材育成機能	流動的な時代に対応できる人材育成への貢献

4 体 制

所長1名、副所長1名、研究員5名の合計7名で構成し、活動を行っています。



港区における引越し（転入・転出・転居）に関するアンケート調査報告書
関係者名簿・報告書執筆分担

令和2年1月現在

【港区政策創造研究所】

大塚 敬	港区政策創造研究所所長（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)政策研究事業本部自治体経営改革室長） 〔調査統括、はじめに、Ⅵ〕
浦田 幹男	港区政策創造研究所副所長（港区企画経営部長）
大浦 昇	港区政策創造研究所主任研究員（港区企画経営部企画課長）
佐藤 珠実	港区政策創造研究所研究員（港区企画経営部企画課政策研究担当係長） 〔Ⅱ4～7〕
堀坂 昌代	港区政策創造研究所研究員（港区企画経営部企画課政策研究担当） 〔Ⅰ、Ⅱ1～3〕
大塚 真澄	港区政策創造研究所研究員（港区企画経営部企画課政策研究担当） 〔Ⅲ1, 3、Ⅳ〕
寺田 和之	港区政策創造研究所研究員（東京大学大学院経済学研究科博士課程） 〔Ⅰ、Ⅲ2、Ⅴ〕